

Athle32

駅伝編

マツト陸上競技大会運営システム

(Windows版)

改訂第3版 2007年11月1日

マツト株式会社

競技会の準備 (データの作成)

. CSVデータの作成

競技会の基礎となる個人データと所属データ、メンバー情報データを作成します。
これらの基礎データはExcelやLotusなどの表計算ソフトを用いて編集し、共通の形式であるCSV形式に保存して陸上システムへ取り込みます。
ここではCSVデータの形式と作成上の注意事項について説明します。

CSVファイルの形式説明

先頭の1レコードを以下の決められたデータ(項目名)でセットすることができます。
(必ずしもこの項目名を使用しなければならないというわけではありません。)

作成するファイルの種類

- ・MASTER系・・・選手の氏名、性別、所属などの個人の情報
- ・SYOZOKU系・・・所属団体に関する情報
- ・MEMBER系・・・駅伝チームを構成するメンバーの情報、駅伝レース毎に必要

これらの各ファイルは、CSV形式(データをカンマ「,」で区切って並べたテキストファイル)で作成し、陸上システムにインポート(取り込み)します。

CSVファイルは、ExcelやLotus123、dBASE、KIRI、三四郎などから保存形式を「CSV」形式として保存することで簡単に作成することができます。

従来の弊社システムで使用していた「固定長テキスト」形式でもインポートすることができます。

各ファイルの形式

〔MASTER系〕

* ID	項目名	有効桁(半角)	説明
* DB...	D B コード	9桁	9桁の任意のコード(重複不可)
* N1...	氏名1(漢字氏名)	30桁以内	全角文字は15桁以内(全角7文字以内を推奨)
N2...	氏名2(フリガナ/英)	30桁以内	全角文字は使用不可
* SX...	性別コード	1桁	男子「1」、女子「2」
* KC...	都道府県コード	2桁	個定情報の「12所属県情報 学連など」を参照
* MC...	所属団体コード	6桁	6桁の任意のコード(SYOZOKU系の「DB」と一致)
TL...	身長	5桁(ZZZ.Z)	単位はcm
WT...	体重	5桁(ZZZ.Z)	単位はkg
ZK...	ナンバー	5桁以内	選手のナンバーカード、「-」ハイフンは不可

Excelを使用して作成する場合の例

	A	B	C	D	E	F	G
1	DB	N1	N2	SX	KC	MC	ZK
2	201000100	中尾 真理子	チオ マリコ	2	27	492184	1
3	201000200	加来 美咲	カ ミサキ	2	21	492184	1
4	201000300	吉岡 知香	ヨシカ チカ	2	23	492184	1
5	201000400	岩下 麻友子	イワタ マユコ	2	23	492184	1
6	201000500	川井 美佳	カワイ ミカ	2	21	492184	1
7	201000600	佐藤 絵理	サウ エリ	2	01	492184	1

先頭のセルに「項目ID」を付ける

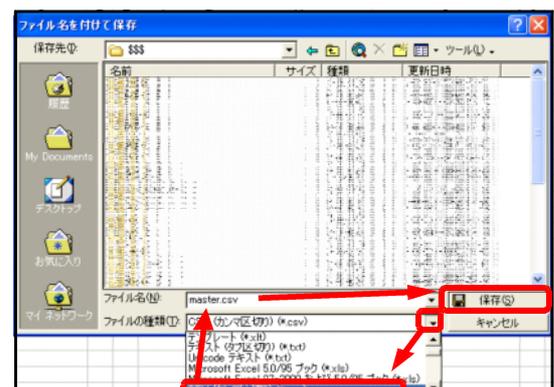
Excelでは先頭に「0」が付くと数値として認識され「0」が消えてしまうので「文字列」書式で入力。

男女混在したデータでよい。

CSV形式保存の方法

Excelの画面左上にある〔ファイル〕メニューから〔名前を付けて保存〕を選択し、〔ファイルの種類〕のプルダウン()から「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」を選び任意のファイル名を付けて保存します。

他の表計算ソフトもほぼ同様の操作でCSV形式保存ができます。



保存したCSVファイルを「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

MASTER系CSVファイルのサンプル:(EXCEL CSVデータ)

```
DB,N1,N2,SX,KC,MC,ZK
201000100,中尾 真理子,ナカ マリコ,2,27,492184,1
201000200,加来 美咲,カ ミサキ,2,21,492184,1
201000300,吉岡 知香,ヨシオカ チカ,2,23,492184,1
201000400,岩下 麻友子,イワタ マユコ,2,23,492184,1
201000500,川井 絵理,カワイ エリ,2,21,492184,1
```

【 SYOZOKU系 】

SYOZOKU系は、出場する選手の所属団体情報を登録しておくものです。
MASTER系とは6桁の所属団体コードで繋がっています。

* ID	項目名	有効桁	説明
* DB...	所属団体コード	6桁	6桁の任意のコード(重複不可) MASTER系の「MC」と同じ
N1...	所属名1(加名称)	30桁以内	半角カタカナ若しくは半角英数字 国際大会では国名のスリーレターを全角で入力
* N2...	所属名2(正式名称)	30桁以内	
* N3...	所属名3(略称)	20桁以内	陸連の規定では最大全角7文字
* KC...	都道府県コード	2桁	個定情報の「12所属県情報 学連など」を参照 所属する都道府県のコードまたは49(学連)

Excelを使用して作成する場合の例
先頭のセルに項目IDを付ける。

	A	B	C	D	E
1	DB	N1	N2	N3	KC
2	492184	メイヨウダガク	名城大学	名城大	49
3	492200	リツメイカンダガク	立命館大学	立命大	49
4	492199	フッキョウダガク	佛教大学	佛教大	49
5	490002	ホッカイトウキョウイクダガク	北海道教育大学	北教大	49

CSV形式保存の方法はMASTER系と同様。

CSV形式で保存し、「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

```
DB,N1,N2,N3,KC
492184,メイヨウダガク,名城大学,名城大,49
492200,リツメイカンダガク,立命館大学,立命大,49
492199,フッキョウダガク,佛教大学,佛教大,49
490002,ホッカイトウキョウイクダガク,北海道教育大学,北教大,49
```



【MEMBER系】

MEMBER系は、駅伝のチーム編成メンバー情報を登録します。
MASTER系とは9桁の競技者DBコードで繋がっています。

* ID	項目名	有効桁	説明
* TM...	チームNo.	3桁以内	「駅伝チーム設定」で設定するチームNo.と一致。
* DB...	競技者DBコード	9桁	MASTER系のDBと一致。

注意事項

- 存在しないチームNo.及びDBは無視されます。
- 駅伝レース毎にこのファイルが必要です。例えば、男子駅伝と女子駅伝を実施する場合、男子だけのデータが入ったMEMBER系ファイルと女子だけのデータが入ったMEMBER系ファイルが必要になります。

Excelを使用して作成する場合の例
先頭のセルに項目IDを付ける。

	A	B
1	TM	DB
2	1	201000100
3	1	201000200
4	1	201000300
5	1	201000400
6	1	201000500
7	1	201000600
8	1	201000700
9	1	201000800
10	1	201000900
11	1	201001000
12	2	202000100
13	2	202000200

CSV形式保存の方法はMASTER系と同様。

CSV形式で保存し、「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

```
TM,DB
1,201000100
1,201000200
1,201000300
1,201000400
.....
```

Point--- MEMBER系ファイルを簡単に作成する方法

MEMBER系CSVファイルはMASTER系ファイルを加工することで簡単に作成することができます。
MASTER系の項目「ZK」にチームのNo.を登録しておき、MASTER系ファイルができあがった後、不要な列(項目)を削除すれば、あっという間にMEMBER系ファイルを作成することができます。
男女のレースをする場合は、男女別々のMEMBER系ファイルに分割する必要があります。



・大会初期設定

ここからは、陸上システム上での作業となります。手順は以下の通りです。

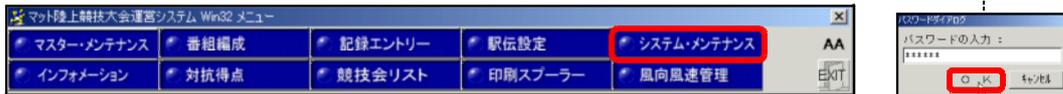
- ・大会初期設定
 1. データ作成フォルダの指定とデータの消去
 2. 大会初期設定 ... 大会名、会場、大会種別、表示・印字方法、番組・ルールに関する設定を行います。
 3. 固定情報の編集 ... 競技者区分（種別） 歴代記録（大会記録など）等を編集します。
 4. 実施競技の登録 ... 実施競技、歴代記録を登録します。
- ・CSVデータのインポート ... 陸上システムに、「 」で作成したデータを取り込みます。
- ・番組編成
- ・データのバックアップ
- ・競技会当日のデータセット

・大会初期設定

1. データ作成フォルダの指定とデータの消去

まず、これからデータを作成するフォルダを指定します。
ここでは、「第24回全日本大学女子駅伝」という大会のデータをC:¥\$\$\$に新規で作成する手順について解説します。

- 1) マイコンピュータやエクスプローラーなどで、Cドライブの\$\$\$フォルダに「MAST」「ENT」「REL」「PROG」の各フォルダが存在することを確認します。
- 2) 陸上システムメインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。



【F5】システム・メンテナンス

- 3) 《1. MKRCONF大会設定》を起動し、プリセット()からデータを作成するフォルダ「ノーマル単体」を選択して《呼出》ボタンをクリックし、ディレクトリ表示の内容が変わったことを確認して《設定》ボタンをクリックします。
*プリセット名はコンピュータによって異なります。呼出ボタンをクリックして表示された内容が、これからデータを作成しようとしているフォルダであればOKです。

【1】 + 【Enter】
MKRCONF大会設定



- 4) 次に、指定したフォルダにあるデータを初期化します。

システムメンテナンスメニューの中から《4. データの消去》を選択します。
「全データの削除」画面が表示されます。

【4】 + 【Enter】
データの消去

「対象のフォルダ」は先ほど3)で指定したフォルダになっていることを確認してください。

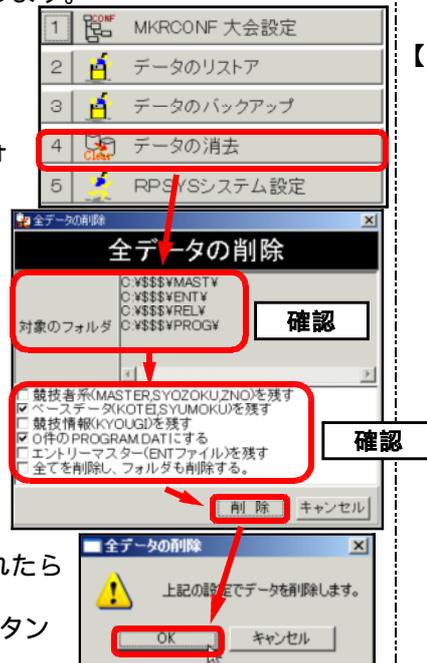
必ずチェックを付ける項目（右図の通り）

- ・ベースデータ（KOTEI, SYUMOKU）を残す
- ・0件のPROGRAM.DATにする

【例外処理】

昨年同一競技会のデータをもとに今年度の競技会データを作成する場合は、「競技情報（KYOUGI）を残す」にチェックを付けると、実施競技に変更がない限り競技情報の登録を省略することができます。

削除項目を確認し、よければ《削除》ボタンをクリックします。削除確認メッセージが表示されたら《OK》をクリックし、削除を開始します。終了後結果レポートが表示されます。《終了》ボタンで閉じてください。



2. 大会初期設定

大会に関する諸情報について設定します。



- 1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。
- 2) 《6. DINST大会初期設定》を起動します。
- 3) 「競技会設定フォーム」が表示されます。上部のタブをクリックすることで、各項目に移動することができます。

【F1】マスターメンテナンス

【6】+【Enter】
大会初期設定



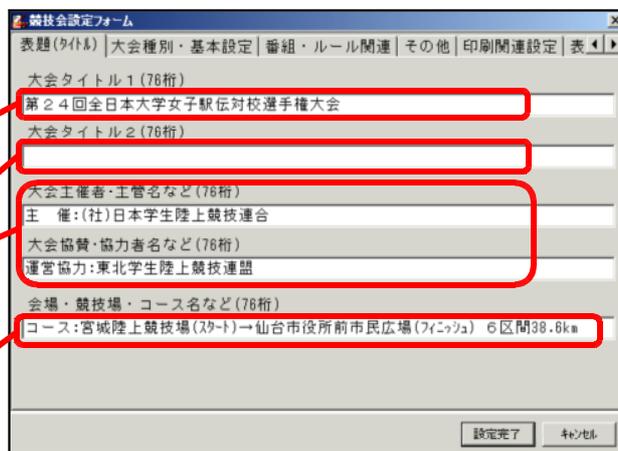
4) 必要箇所を設定します。

表題(タイトル)関係設定

ここに入力された項目は、スタートリスト、記録表、結果表、番組編成リストなどの各種印刷物のヘッダとして使用されます。

各項目最大76桁。

- ・大会タイトル1 - 競技会名を入力。
- ・大会タイトル2 - サブ競技会名や主催者を入力(空欄でも可)
- ・主催者、主管名、大会協賛、協力者名など
主催者や主管陸協、特別協賛、後援など
2行を自由に使用してください。
- ・会場、競技場、コース - 開催場所を入力。



大会種別・基本設定

大会の種類やナンバーカード、所属の扱い方などについて設定します。

各項目とも、選択方式。

- ・大会属性 - 「一般」「国際」「国体」「障害」から選択。「 」から選択。通常は「一般」を選択。

学連の駅伝モード

棄権線上後の記録(総合成績、区間記録)を無効にします。学連の駅伝大会で使用。

ナンバーカードの扱い

競技者マスターのナンバーカード更新を実行する際に、どのようにナンバーを扱うかを設定。
シングル...競技者マスターデータの中でナンバーが男女各1名ずつしか存在しない場合にこのモードを使います。
マルチ...同一ナンバーを最大10名まで別の競技者として扱うことができます。

駅伝大会ではナンバー管理の必要がありません。どちらのモードでもかまいません。

連番種別[個定情報23]使用

従来2つの数字組み合わせで種別を構成していましたが、このモードを使うと2桁の数字で個別に種別を設定することが出来ます。最大100個の個別種別に対応する新しい種別モードです。マスターズ陸上など種別の極端に多い場合のみ使用してください。駅伝では使用しません。

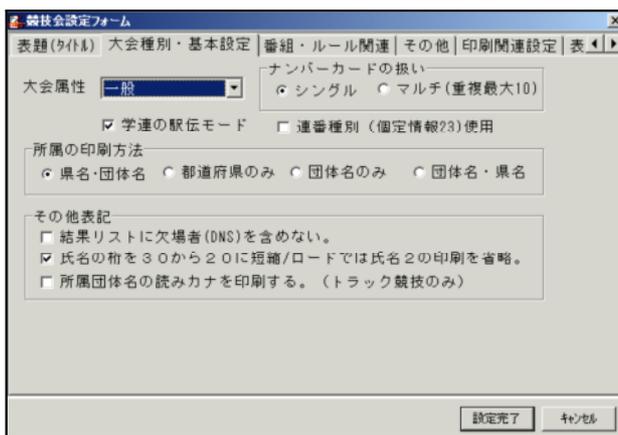
所属の印刷方法

所属の印刷方法の選択です。例) 団体名: 東京大 県名: 兵庫の場合

県名・団体名	兵庫・東京大	都道府県のみ	兵庫
団体名のみ	東京大	団体名・県名	東京大・兵庫

その他の表記

結果リストに欠場者(DNS)を含めるかどうか。含めない場合にチェックを付けます。
氏名の桁を短縮するかどうか。通常チェックを付け、短縮してください。



所属団体名の読みがなを印刷するかどうか（トラック競技のみ）

注1 - 学連の駅伝モードについて

ある区間の走者が途中棄権した場合、それまでの区間の記録は公認（有効）とするが、以降の区間は線上スタートして走ったとしても、チームの総合記録と以降の区間の区間記録は公認にならない（無効扱いとなる）。一般の駅伝大会では、同様の場合、チームとしての総合記録はありませんが、線上スタート以降の区間記録は公認（有効）され、区間賞の対象にもなります。

番組・ルール関連

番組編成などのルールに関する設定をします。

『番組編成関連』

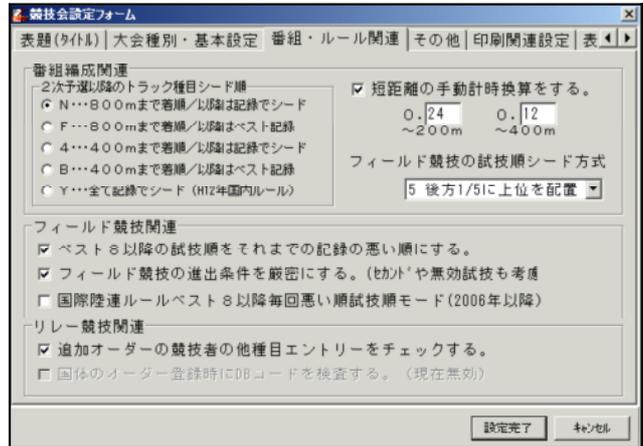
トラック&フィールド時の番組編成関連ルールの設定です。駅伝では設定の必要ありません。

『フィールド競技関連』

フィールド競技の試技に関するルール設定です。駅伝では設定の必要ありません。

『リレー競技関連』

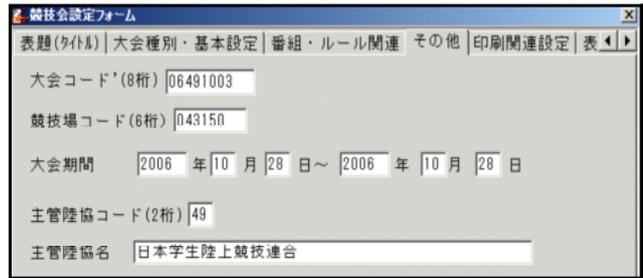
リレーに関する設定です。駅伝では設定の必要ありません。



その他

大会コードや競技場コードなどを入力します。ここに入力した項目は特におもてに出ることはありません。

- ・大会コード(8桁) - 陸連の定める大会コード
- ・競技場コード(6桁) - 陸連の定める競技場コード
- ・大会期間(西暦)
- ・主管陸協コード(2桁)
- ・主管陸協名



印刷関連設定

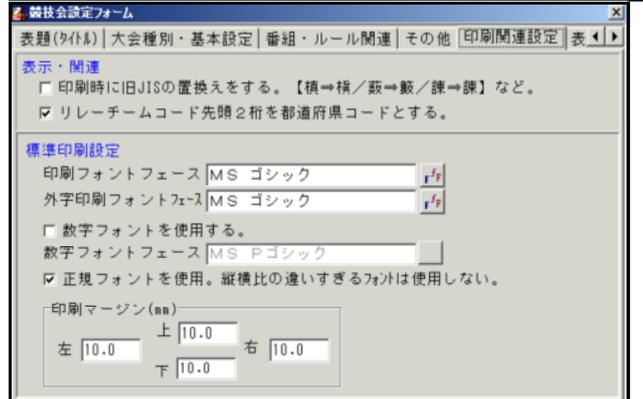
印刷や表示に関する項目の設定。

『表示・関連』

- ・印刷時に旧JISの置き換えをするかどうか。置き換えをする場合、チェックを付ける。籠籠、遙遙、槓槓、藪藪、諫諫などの文字置き換えをするかどうか。
- ・リレーチームコードの先頭2桁を都道府県コードとするかどうか。通常はチェックを付けておきます。

『標準印刷設定』

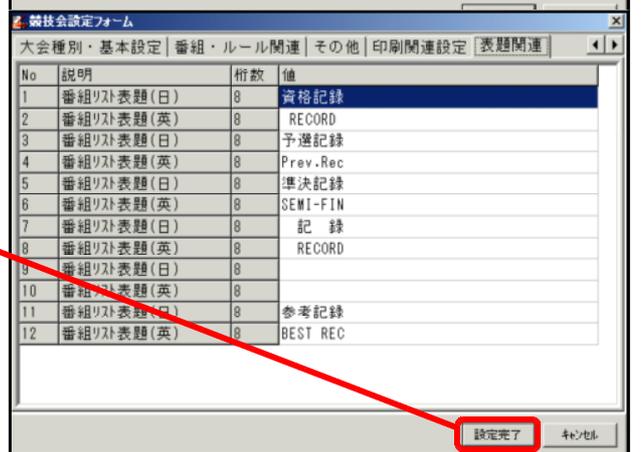
各種印刷フォントや余白の設定です。特に変更の必要はありません。



表題関連

番組編成リストで使用される記録の表題に関する設定。特に変更の必要はありません。

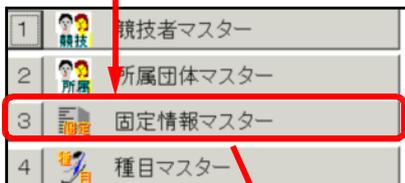
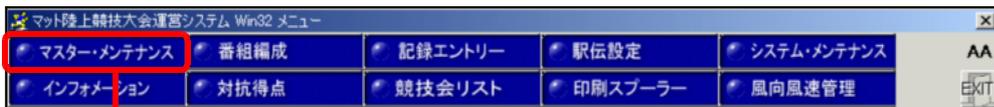
- すべての設定が終了したら、《設定完了》ボタンをクリックし画面を閉じます。《キャンセル》をクリックした場合、設定は保存されません。



3. 個定情報の編集

大会に関する個定情報を編集します。ここでは特に「高校」「中学」「成年」「少年A」「少年B」などの競技者区分（種別）の設定と、日本記録や大会記録などの歴代記録コメントについて編集します。

その他の項目はほとんどの場合、変更の必要がありません。

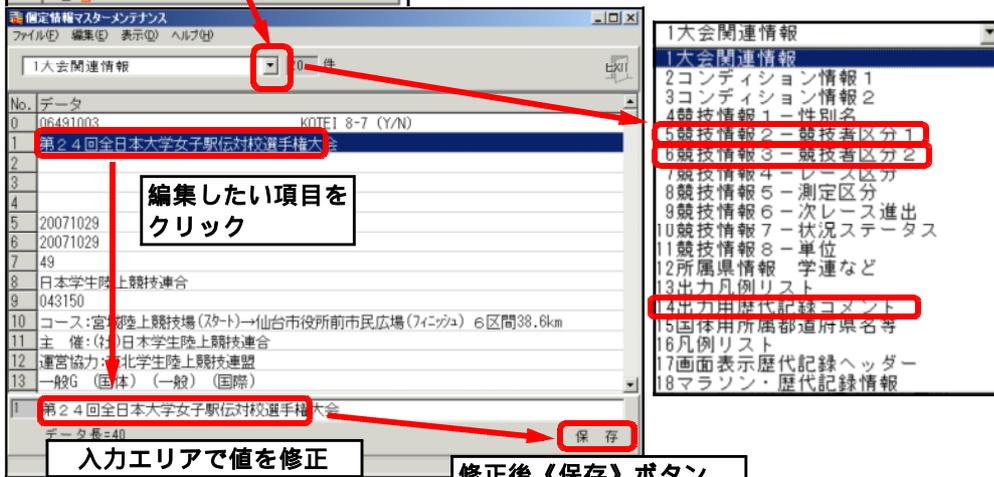


1) メインメニューの《マスター・メンテナンス》をクリックします。

【F1】マスターメンテナンス

2) 《3. 固定情報マスター》を起動します。前項で登録したDINST大会初期設定の情報が「1大会関連情報」として表示されます。

【3】+【Enter】固定情報マスター



編集したい項目をクリック

入力エリアで値を修正

修正後《保存》ボタン

- プルダウン () から修正する項目を選択します。
- 編集は、修正したいデータ行を選択し、入力エリアに値を入力して《保存》ボタンをクリックします。これで、データが更新されます。この編集操作は、個定情報マスターメンテナンス内共通です。

《5競技情報2 - 競技者区分1》、《6競技情報3 - 競技者区分2》

「競技者区分」の設定

「競技者区分」は実施競技登録時の種別に該当し、国体では「成年」「少年A」「少年B」、一般競技会では「オープン」「一般」「高校」「中学」「小学」、学年別の競技会では「1年」「2年」「低学年」などを設定することができます。競技者区分は《競技者区分1(1桁)》と《競技者区分2(1桁)》の計2桁で構成されており、この両方を組み合わせて種別2桁を作成します。

例えば、右図のように設定したとすると、以下のような種別が考えられます。

- | | |
|----------|------------|
| 「00」 | 「28」日本選抜A |
| 「01」一般 | 「29」日本選抜B |
| 「02」共通 | 「33」大学・実業団 |
| 「10」クラブリ | など... |
| 「20」日本選抜 | |



種別、前の1桁

種別、後の1桁

特にはじめから指定があるわけではありませんので、大会運営上都合の良い、わかりやすい種別の組み合わせを考えて設定して下さい。なにも表示したくない場合は、「00」を使用して下さい。



《14出力用歴代記録コメント》 「歴代記録」の設定

「歴代記録」は競技会における「大会記録」や「世界記録」「日本記録」「県記録」「県高校記録」などを入力しておき、スタートリストや番組編成リスト記録表などの印刷物、レース参照時の画面参照用などに使用されます。

編集方法は、直接個定情報マスターメンテナンス上で編集する方法と、データをエクスポート（CSV形式に保存）してテキストエディタや表計算ソフト等で編集し、編集したデータを再度読み込む方法があります。

直接編集

《14出力用歴代記録コメント》を選択し、右図の選択エリアから編集したい項目を選択します。

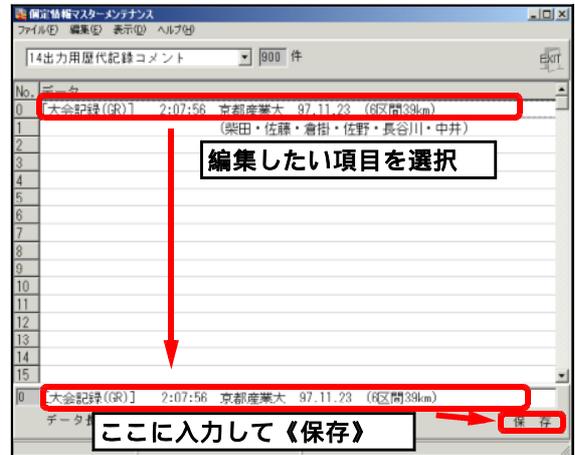
入力エリアにその項目が表示されたら《Enter》キーを押し、内容を編集して下さい。最大76桁で、入力形式に指定はありません。

編集終了後もう一度《Enter》キーを押すまたは《保存》ボタンをクリックすると内容が登録されます。

データをエクスポートして編集

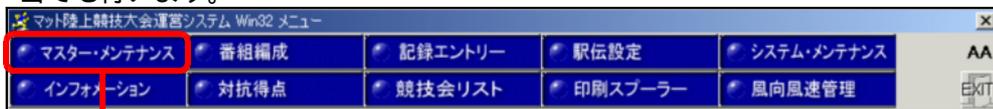
《14出力用歴代記録コメント》を選択します。画面左上の《ファイル》メニューから《エクスポート》を選択し、ファイルの保存先を選び任意のファイル名を付けて保存します。保存されたCSV形式のファイルをテキストエディタや表計算ソフトで編集して下さい。

《ファイル》メニューから《インポート》を選択し、編集したファイルを指定して取り込みます。このとき1列目には「14」が、2列目には「0からの連番」が3桁で必ず入力されている必要があります（Excelで編集した場合は桁ずれに注意）。



4. 実施競技の登録

競技会で実施する予定の競技を全て登録します。また、競技に対して歴代記録の割当も行います。



メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックし、次に《5. 競技マスター》を選択します。

何も登録されたいない競技マスター・メンテナンス画面が表示されます。

「1 - 4）データの消去」で「競技情報 (KYOUGI) を残す」にチェックを付けた場合は、すでに登録済みの競技マスターが表示されます。この場合すべての競技を1度ずつ選択してENTファイルを作成して下さい。

【 F 1 】 マスターメンテナンス
【 5 】 + 【 Enter 】
競技マスター

競技コードについて

競技コード { 種目コード3桁 (混成競技の個々の種目は6桁) 種目マスターに登録されています。
性別コード1桁 個定情報「4競技情報1 - 性別名」に登録されています。
種別コード2桁 個定情報「5競技情報2 - 競技者区分1」と「6競技情報3 - 競技者区分2」で設定します。

この競技コードを実施する競技すべてについて登録します。

ハードル競技はハードルの高さ別に、投てき競技は使用する用具の重さ別に種目コードが用意されています。また、混成競技は3桁のコードのもの (男子十種競技なら201、女子七種競技なら202) のみを登録してください。

登録する順序に特に決まりはありませんが、100m、200m・・・の順に登録することをおすすめします。また、男子と女子が混ざらない方がわかりやすい。

競技マスターに登録されている情報

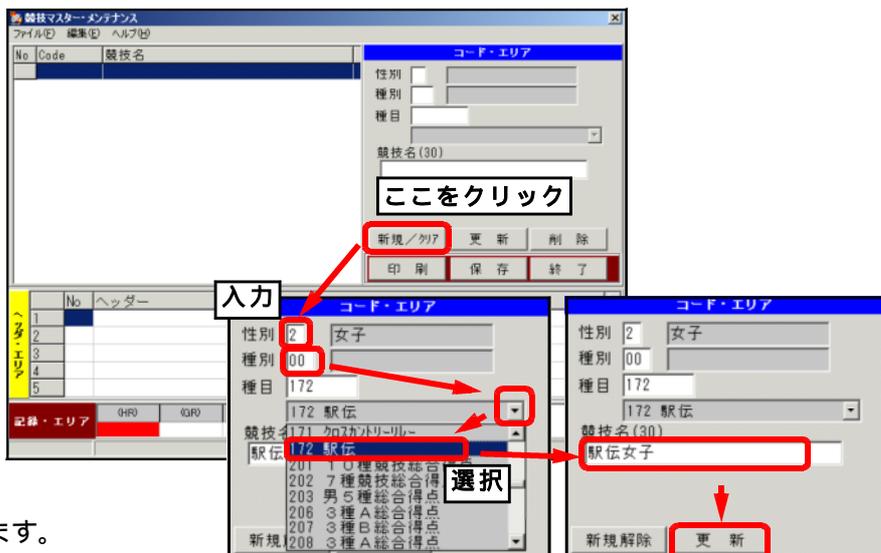
- ・ 競技コード9桁 (種目コード (6桁) + 性別コード (1桁) + 種別コード (2桁))
- ・ 記録表、結果表、スタートリスト、番組編成リストのヘッダー部に印刷される歴代記録の情報
- ・ 記録入力画面や電光掲示盤に表示する日本記録や大会記録などの情報



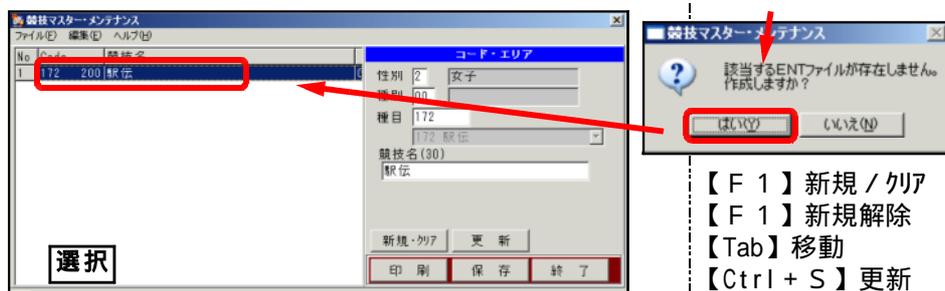
競技の登録を行います。

例) 女子駅伝(コード172 200)

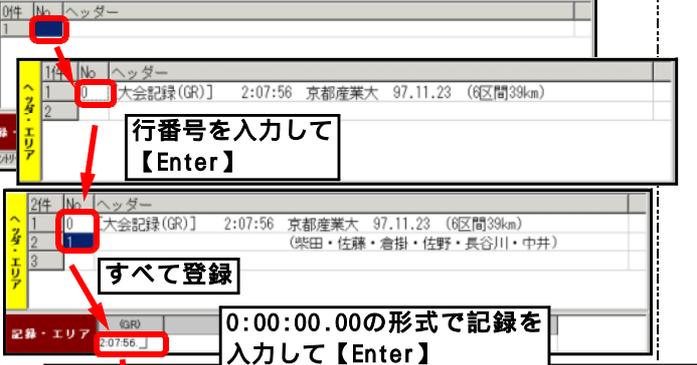
- 1) 《新規/クリア》ボタンをクリックします。
- 2) 「性別」に性別コード(半角数値)を入力します。
- 3) 「種別」に種別コード(半角数値)を入力します。
- 4) 「種目」のプルダウン()から、種目を選択します。「競技名」が表示されます。
- 5) 《更新》ボタンをクリックします。
- 6) 「該当するENTファイルが存在しません。作成しますか?」というメッセージが表示されたら、《はい》をクリックします。



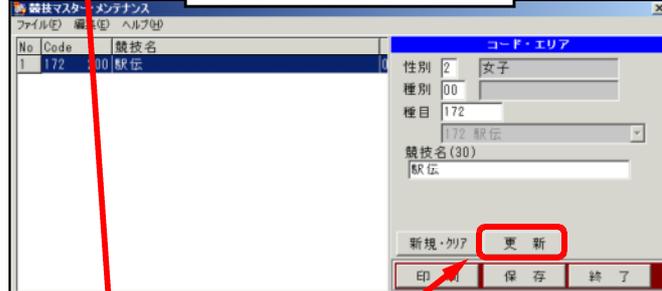
- 7) ヘッダ・エリアに歴代記録ヘッダの行番号を登録します。登録が不要な場合は次の競技へ進みます。ヘッダ・エリアの「No」欄に上から順に、個定情報「14出力用歴代記録コメント」に登録した歴代記録の行番号をここに入力します。ヘッダは最大10件まで登録することができます。歴代記録の行番号がわからない場合は、【999】を入力するとリストの検索ができます。



- 8) ヘッダエリアの登録できたら、記録・エリアに画面表示用、電光掲示用歴代記録を登録します。記録・エリアで入力したい項目をクリックし、記録を入力します。入力後【Enter】キーを押します。

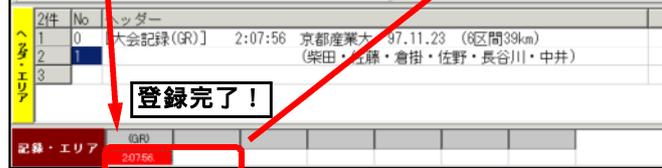


- 9) 最後に、《更新》ボタンをクリックし、登録情報を更新します。



- 10) 1) ~ 9) までの作業を実施する競技の数だけ行います。

- 11) すべての競技が登録できたら《保存》ボタンをクリックし競技マスターを保存します。



- 12) 登録した内容が正しいかどうか、印刷して確認することをおすすめします。《印刷》ボタンをクリックすると、競技マスターの印刷ができます。

【Ctrl + Shift + S】保存

【Ctrl + P】印刷

- 13) すべての処理が終了したら《保存》をクリックし、《終了》をクリックするとメニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F10】終了



「種目」プルダウン()に登録したい種目が見つからないとき

「種目マスター」に種目を登録します。

- 1) 競技マスターメンテナンス画面が表示されている場合は《保存》ボタンをクリックしてこれまでの登録内容を保存し、《終了》ボタンをクリックして競技マスターメンテナンスを終了してください。
- 2) マスターメンテナンスメニューが表示されたら、《4. 種目マスター》を選択します。種目マスターメンテナンスが起動します。
- 3) 《新規/クリア》ボタンをクリックします。データ入力欄がすべて空欄になります。



【4】 + 【Enter】
種目マスター
【Ctrl + N】
新規/クリア



- 4) データ入力欄に追加する種目を入力します。
 - ...種目コード 半角数字3桁(混成競技の単種目のみ6桁)
 - ...種目名カナ 半角最大30桁
 - ...正式種目名 最大30桁
 - ...略種目名 おもに表示や印刷に使われます。最大20桁
 - ...単位 競走競技の場合「0-sec」

- 5) 入力を終わたら、《更新》ボタンをクリックします。すると、種目コード表の一番最後に追加されます。さらに、《ソート》ボタンをクリックすると、コード順に整列します。
- 6) 以上で種目の登録は終了です。《保存》ボタンをクリックした後、《終了》ボタンをクリックしてもとの競技マスターに戻ります。

【F12】更新
【F7】ソート

【Ctrl + S】保存
【Ctrl + F12】終了

競技マスターのインポート・エクスポート

競技マスターをCSV形式で出力したり、CSV形式で作成したものを陸上システムにインポートしたりすることができます。

- 1) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート(CSV)》もしくは《エクスポート(CSV)》を選択します。ファイルの出力先・ファイルの保存してある場所を指定するウィンドウが表示されますのでインポートの場合はインポートするファイルを選択、エクスポートの場合は出力する場所を指定します。
- 2) 《開く》または《保存》ボタンをクリックすると実行されます。

【Ctrl + I】インポート
【Ctrl + E】エクスポート

データ形式 (CSVデータのためカンマ区切り)
先頭の項目名 KC, N1, MX, T1, T2, T3, T4, T5, T6, T7, T8, T9, R1, R2, R3, R4, R5, R6, R7, R8, R9

【記号の意味】

- KC 競技コード9桁(種目コード6桁 + 性別コード1桁 + 種別コード2桁)
- N1 競技名(最大30桁)
- MX 歴代記録ヘッダ合計数(半角1桁)。最大値は9。
- T1 ~ T9 歴代記録コメント(個定情報「14出力用歴代記録コメント」の行番号ではなく、コメントの内容を直接インポート・エクスポートされます)。最大9件。
- R1 ~ R9 画面表示用記録(指定桁数の前に桁崩れ防止のため「R」を付けても可)。最大9件。駅伝競技の場合5桁。

例) 2時間07秒56の場合 20756、R20756

例) KC, N1, MX, T1, R1
172, 200, 女子駅伝, 1, [大会記録(GR)], 2:07.56 京都産業大 97.11.23 (6区間39km), R20756



.CSVデータのインポート

「.CSVデータの作成」で作成したCSVデータを大会運営システムにインポート（データの取り込み）します。

手順としては、所属マスター、競技者マスター、リレーマスターの順に作業します。

1. 所属マスターのインポート

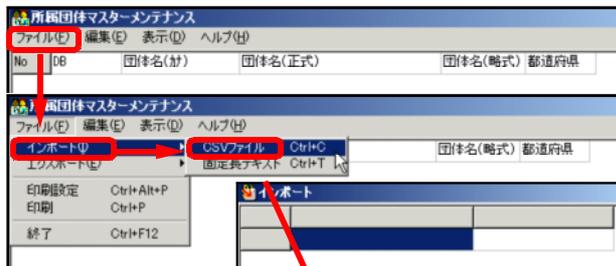


1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。

【F 1】マスターメンテナンス

2) 《2. 所属団体マスター》を起動します。
データの入っていない所属団体マスターメンテナンス画面が表示されます。

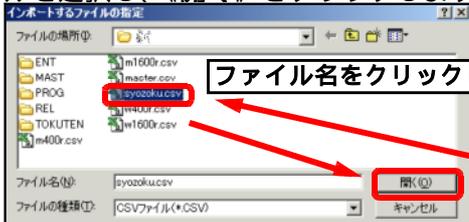
【2】 + 【Enter】
所属団体マスター



3) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》 - 《CSVファイル》を選択します。

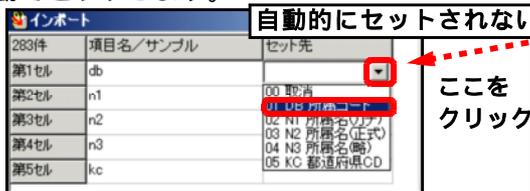
【Ctrl + C】
CSVファイルインポ

4) インポートウィンドウが表示されたら、《インポート・ファイル選択》をクリックし、作成したSYOZOKU系マスターのファイルを選択し、《開く》をクリックします。



ファイル名をクリックして《開く》

5) 所属マスターファイルの先頭行をタイトル行とした場合は、自動的に「セット先」が表示されますが、先頭行をタイトル行としなかった場合は、下図のセット位置をクリックし、手動でセットします。



自動的にセットされないとき

ここをクリック

6) オプションを設定します。

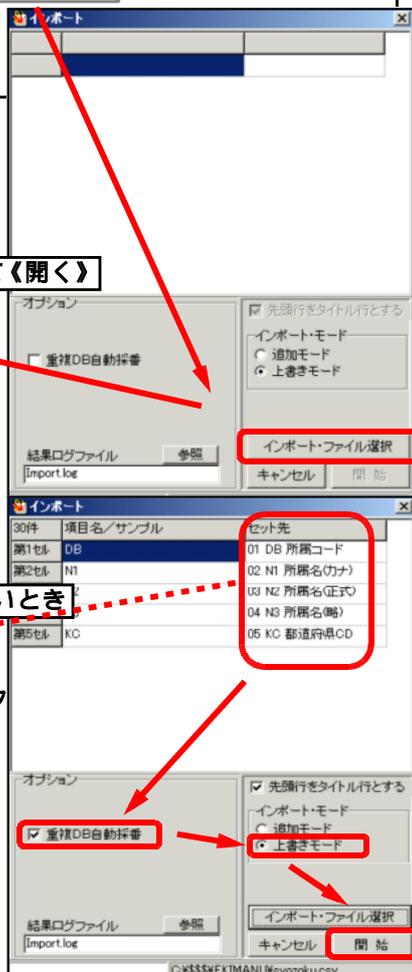
- ・重複DB自動採番 (チェックを付けます) DBのだぶりを自動的にチェックします。

7) インポート・モードを設定します。

- ・追加モード すでにインポートしたデータに追加します。
- ・上書きモード 全て上書きでインポートします。(通常)

8) 以上の設定が完了したら、《開始》ボタンをクリックします。データのインポートが開始されます。

9) インポート終了後、インポート結果が表示されます。このとき、エラーがあった場合は結果ログファイルを参照し、エラーを修正してからもう一度上書きでインポートしてください。



自動採番、ストップ
エラーが「0」ではない
場合は「実行ログ」
を参照してもう一度
CSVデータをチェック



2. 競技者マスターのインポート

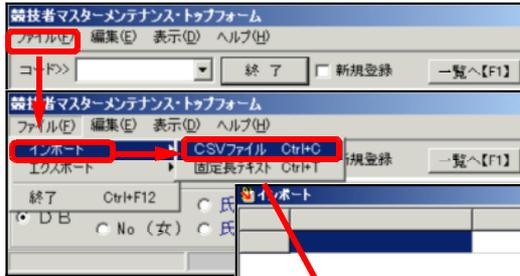


- 1) メインメニューの《マスターメンテナンス》をクリックします。
- 2) 《1. 競技者マスター》を起動します。
競技者マスターメンテナンスストップフォームが表示されます。

【F 1】マスターメンテナンス

【1】 + 【Enter】
競技者マスター

- 3) 画面左上の《ファイル》メニューから《インポート》 - 《CSVファイル》を選択します。



【Ctrl + C】
CSVファイルインポート

- 4) インポートウィンドウが表示されたら、《インポート・ファイル選択》をクリックし、作成した競技者系マスターのファイルを選択し、《開く》をクリックします。



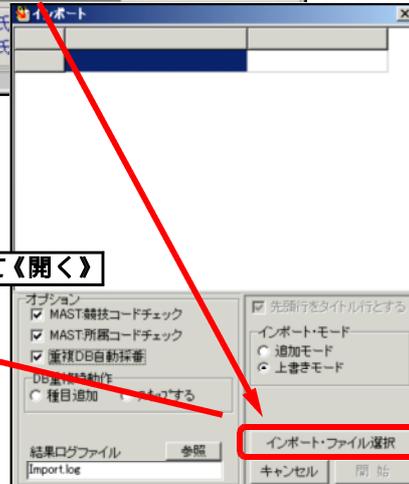
ファイル名をクリックして《開く》

- 5) 競技者マスターファイルの先頭行をタイトル行とした場合は、自動的に「セット先」が表示されますが、先頭行をタイトル行としなかった場合は、下図のセット位置をクリックし、手でセットします。

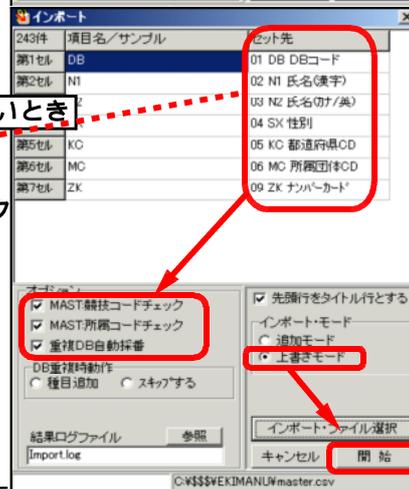


自動的にセットされないとき

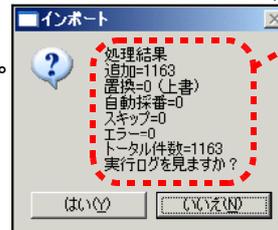
ここをクリック



- 6) オプションを設定します。
 - ・重複DB自動採番 (チェックを付けます) DBのだぶりを自動的にチェックします。
 - ・MAST競技コードチェック (チェックを付けます) 競技コードに誤りがないかチェックします。
 - ・MAST所属コードチェック (チェックを付けます) 所属コードに対応しているかチェックします。
- 7) インポート・モードを設定します。
 - ・追加モード すでにインポートしたデータに追加します。
 - ・上書きモード 全て上書きでインポートします。(通常)
- 8) 以上の設定が完了したら、《開始》ボタンをクリックします。データのインポートが開始されます。



- 9) インポート終了後、インポート結果が表示されます。このとき、エラーがあった場合は結果ログファイルを参照し、エラーを修正してからもう一度上書きでインポートしてください。



自動採番、スキップ
エラーが「0」ではない
場合は「実行ログ」
を参照してもう一度
CSVデータをチェック

固定長データの場合もCSVデータのインポートと操作はあまり変わりません。
データが固定長ですので項目の割り当てが不要となります。



駅伝初期設定

ここでは、駅伝に関する区間数、区間名、チーム数、チーム名などの細かな情報について設定します。

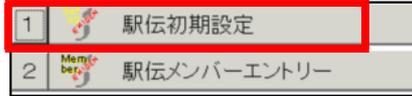
1. 駅伝初期設定

1) 《駅伝設定》メニューを選択します。

【F 4】 駅伝設定

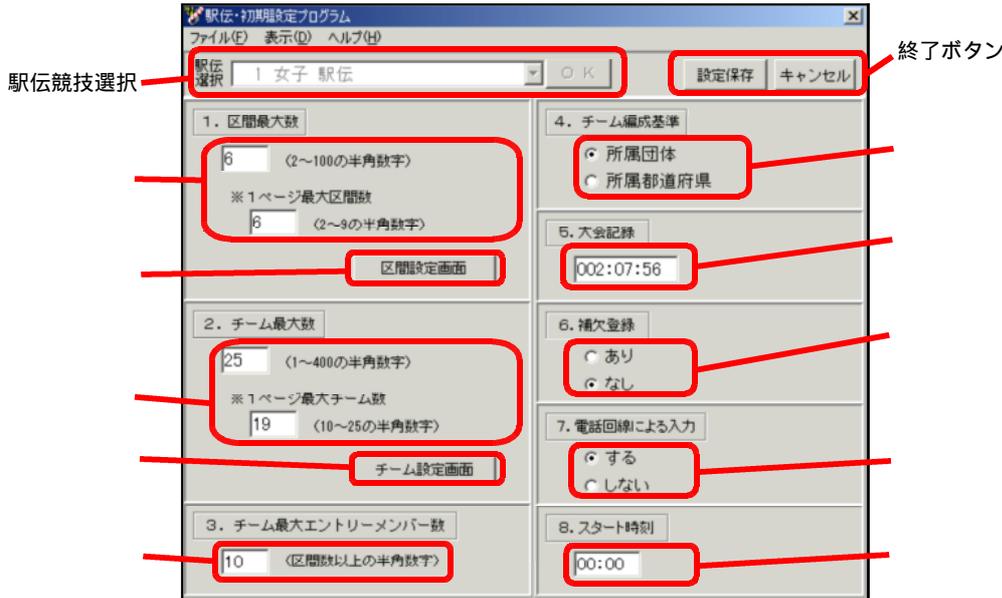


2) 《1. 駅伝初期設定》を起動します。



3) 駅伝・初期設定プログラム画面が表示されます。

駅伝競技選択のプルダウン()から駅伝設定を行おうとしている競技を選択し、《OK》ボタンをクリックします。



4) 各種初期設定を行います。

区間最大数 ... 駅伝大会の最大区間数を設定します。
1 ページ最大区間数...印刷物 1 ページに印字される最大区間数を設定します。
《区間設定画面》 「 区間名称・区間記録の登録」を参照。

【Tab】 項目間移動

チーム最大数 ... 出場チームの最大数を設定します。
1 ページ最大チーム数...印刷物 1 ページに印字される最大チーム数を設定します。
《チーム設定画面》 「 出場チームごとのゼッケン及びチーム名称の登録」を参照。

チーム最大エントリーメンバー数... 1 チームの最大エントリー者数を設定。

チーム編成基準 ... チームを編成する基準が所属団体か都道府県かを選択。

大会記録 ... 大会記録を入力します (無い場合は000:00:00と入力)。

補欠登録 ... 補欠選手を登録するかしないかを選択します。

電話回線による入力... 電話回線を使用して記録を入力するかしないか。

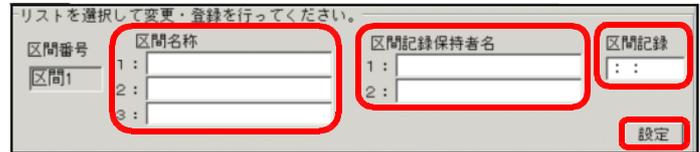
スタート時刻 ... 通常は00:00を入力します。この場合、スタートしてからの経過時間を記録入力時に入力するモードになります。スタート時刻を入力した場合は、通過時刻を入力するモードになります。



区間名称・区間記録の登録

区間名称、区間記録保持者名、区間記録を登録します。

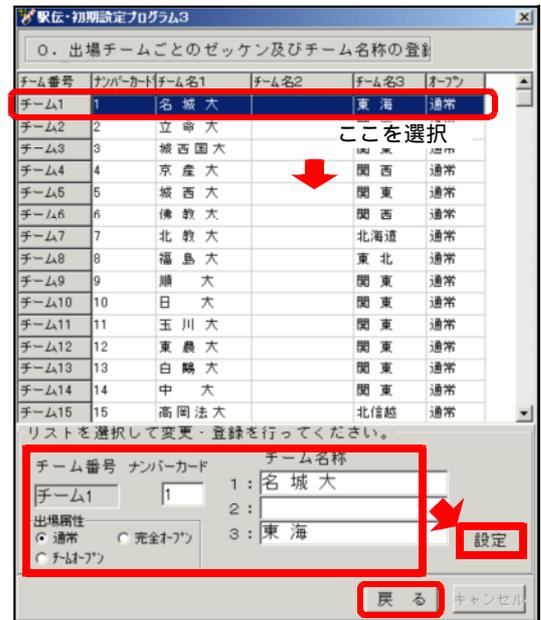
1. 《区間設定画面》ボタンをクリックし、区間名称・区間記録登録ボックスを表示します
2. これから登録しようとする区間番号のリストを選択します。画面下部に区間番号に対応した入力枠が表示されます。
3. 区間名称を登録します。
例) 1 : 第1区
2 : 8.5km
3 : (使用しない) など
4. 区間記録保持者名を登録します。
(区間記録がない場合は空白)
例) 1 : 赤羽 有紀子
2 : 城西大・関東 など
5. 区間記録を登録します
(区間記録がない場合は空白または0:00:00を入力してください)
6. 入力後、《設定》ボタンをクリックして登録し、次の区間番号のリストに移ります。
7. 全ての区間番号について処理が終了したら、《戻る》ボタンでもとの画面に戻ります。



出場チームごとのゼッケン及びチーム名称の登録

出場チームのナンバーやチームの名称を登録します。

1. 《チーム設定画面》ボタンをクリックし、出場チームごとのゼッケンおよびチーム名称の登録ボックスを表示します。
2. 登録しようとしているチーム番号の行を選択します。
3. 画面下部にチーム番号に対応した入力枠が表示されますので、ナンバーカードの番号とチーム名称を入力します。
チーム名称入力例)
1 : 名城大 (必ず何か登録)
2 : (通常は3桁が、空白でも可)
3 : 東海 (自由に登録可能、空白でも可)
4. 出場属性を選択します。
出場属性を設定するとそのチームをオープン扱いにすることが出来ます。
 - ・完全オープン…チームの記録と順位、個人の記録と順位の両方をオープン扱いとします。
 - ・チームオープン…チームの記録と順位のみオープン扱いとし、個人の記録と順位は有効となります(区間賞の対象となります。)
 - ・通常…オープンを設定しない場合はこちらを選択します(通常)。
5. 入力後、設定ボタンをクリックしてデータを登録し、次のチーム番号のに移ります(繰り返し作業し、全チーム登録します)。



6. 全てのチームの登録処理が終了したら、《戻る》で元の画面に戻ります。

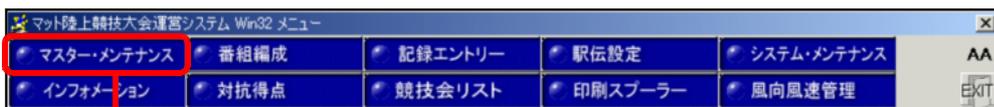
以上で駅伝初期設定は終了です。

画面右上部にある《設定保存》ボタンをクリックして処理を終了します。

このとき、設定した内容を保存したくない場合は、《キャンセル》ボタンをクリックして終了してください。

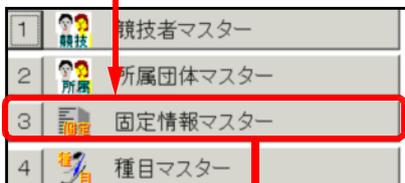
オープン処理をする場合にはコメントの表示に注意が必要です。

オープン処理設定をすると、画面表示、印刷物の凡例などに「OPN:オープン出場」という凡例が付きます。この凡例は初期状態では登録されていない場合がありますので、登録されているかどうか事前に確認してください。



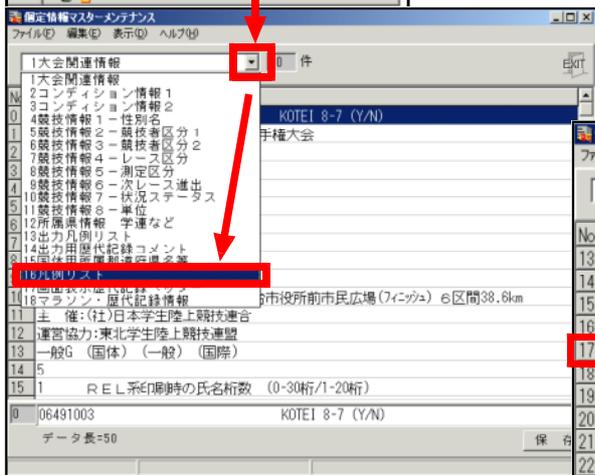
1) メインメニューの《マスター・メンテナンス》をクリックします。

【 F 1 】 マスターメンテナンス

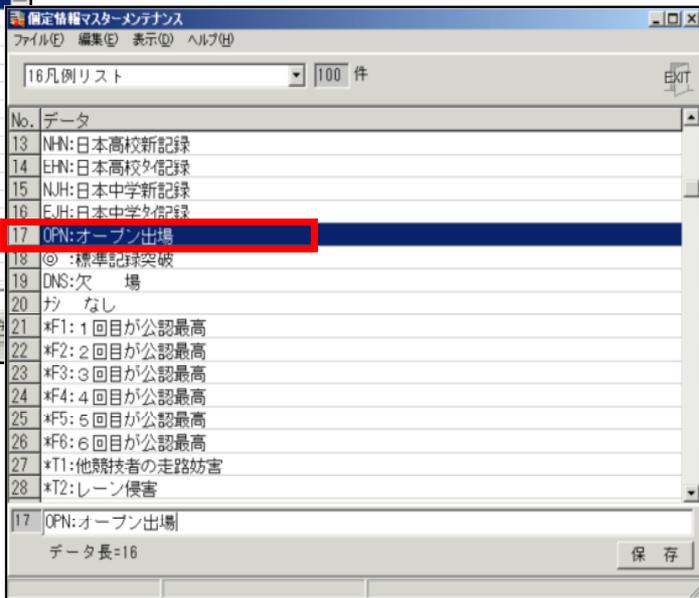


2) 《3. 固定情報マスター》を起動します。前項で登録したD I N S T大会初期設定の情報が「1大会関連情報」として表示されます。

【 3 】 + 【 Enter 】 固定情報マスター



3) 「大会関連情報」から《16. 凡例リスト》を選択します。



4) 「No.17」の項目に「OPN:オープン出場」もしくは「OPN:オープン参加」と登録があるかどうか確認してください。登録されていない場合は登録してください。すでにこの場所に別のコメントを登録している場合には、下方の開いている番号に移動登録してください。

このオープン処理項目はトラック&フィールド競技でも共通で使用します。また、固定情報はデータ固有に存在するものです。次の大会のデータを作成する場合に、今回オープンを追加したこのデータを使用しない場合は、再度このコメント追加の作業が必要になります。

5) 登録後は《EXIT》ボタンをクリックしてメニュー画面に戻ります。

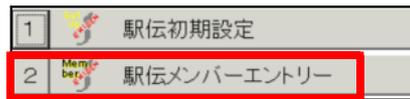


. 駅伝メンバーエントリー

ここでは、駅伝メンバーの登録をします。

1. 駅伝メンバーエントリー

1) メインメニューから《駅伝設定》を選択し、《2. 駅伝メンバーエントリー》を起動します。

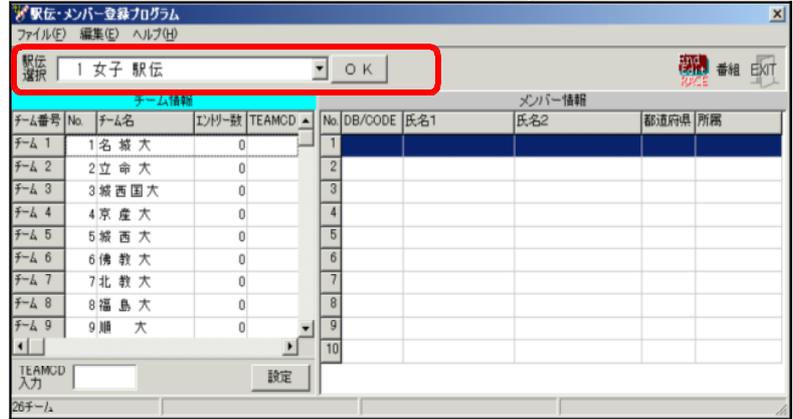


【 F 4 】 駅伝設定

2) 駅伝・メンバー登録プログラム画面が表示されます。

駅伝選択のプルダウン()からメンバーを登録する競技を選択し、《OK》ボタンをクリックします。すると、「. 駅伝初期設定」で登録したチーム名が表示されます。

【 】 選択
【Enter】 OK



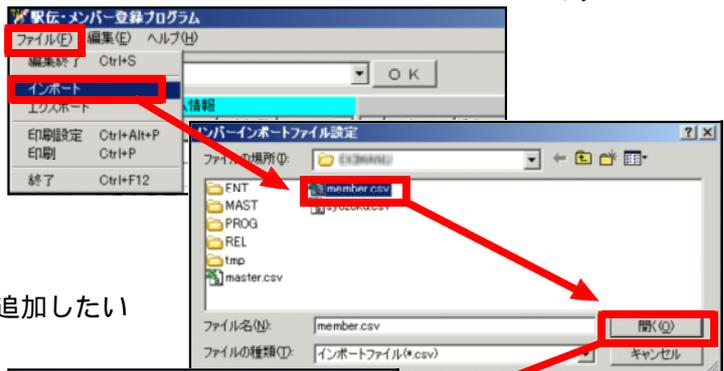
3) 各チームにメンバーを登録します。

メンバーエントリーの方法

- member.csvファイルからデータを一括して読み込む。
- チームコードを使い、チームコードが一致する選手を自動登録する。
- 選手のDBコードや氏名などから検索して1名ずつ登録する

a) member.csvファイルからデータを一括して読み込む

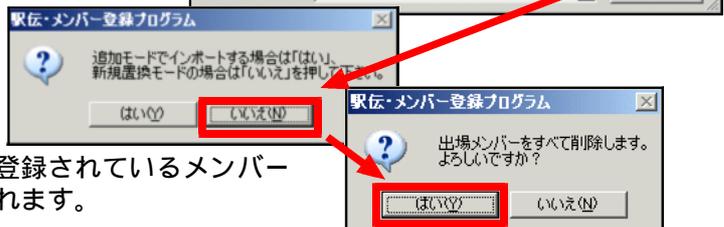
(member.csvファイルのデータ形式は「. CSVデータの作成」 - 「MEMBER系」を参照。) 画面左上「ファイル」メニューから「インポート」を選択します。



ファイル選択画面が表示されたらあらかじめ作成したメンバーCSVファイルを選び【開く】をクリックします。

インポートモードを選択します。

- 追加モード《はい》
すでにメンバー情報を読み込んでおり追加したい場合に使用。
- 新規置換モード《いいえ》
はじめてメンバー情報を読み込む場合に使用。(通常こちら)
《はい》又は《いいえ》を選択。

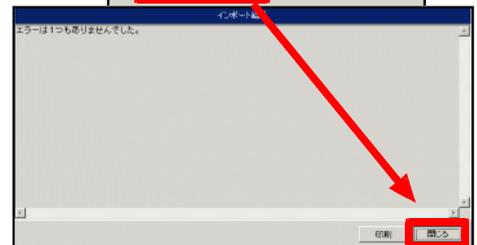


で《いいえ》を選択した場合は、現在登録されているメンバー情報を削除する旨のメッセージが表示されます。よろしければ《はい》を選択します。

インポート結果が表示されます。

問題がない場合は右図のようにエラーがない旨のメッセージが表示されます。データの重複など問題がある場合はここに表示されますので、CSVファイルに戻って問題点を改善してから再度インポート処理を行ってください。

《閉じる》ボタンでメンバーエントリー画面に戻ります。



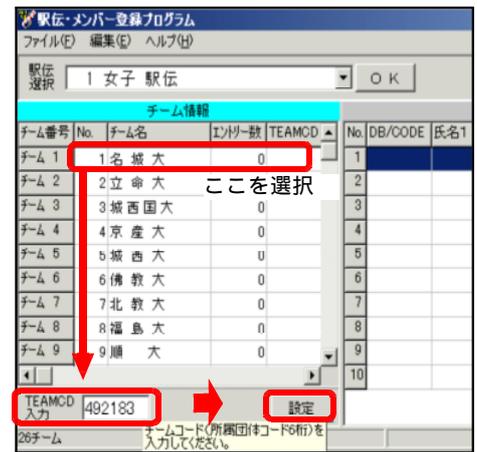
b) チームコードによる一括登録

画面左側のチーム情報欄の中からメンバーを登録したいチームを選択します。

TEAMCD入力欄にチームコード注2を入力し、《設定》ボタンをクリックします。

チーム情報欄のエントリー数が「0」からエントリーしている選手の数に変わり、画面右側のメンバー情報の欄にチームコードの一致した選手が表示されます。

この操作をチームの数だけ繰り返せばメンバーが全て登録されます。



注2 - チームコードについて

チームコードは、駅伝初期設定の際に「4. チーム編成基準」を「所属団体」にした場合は6桁の所属団体コード、「所属都道府県」にした場合は2桁の都道府県コードがチームコードになります。

c) 選手のDBコードや氏名などから検索して1名ずつ登録する

【F2】メンバー登録

画面左側のチーム情報欄の中からメンバー登録したいチームを選択します。

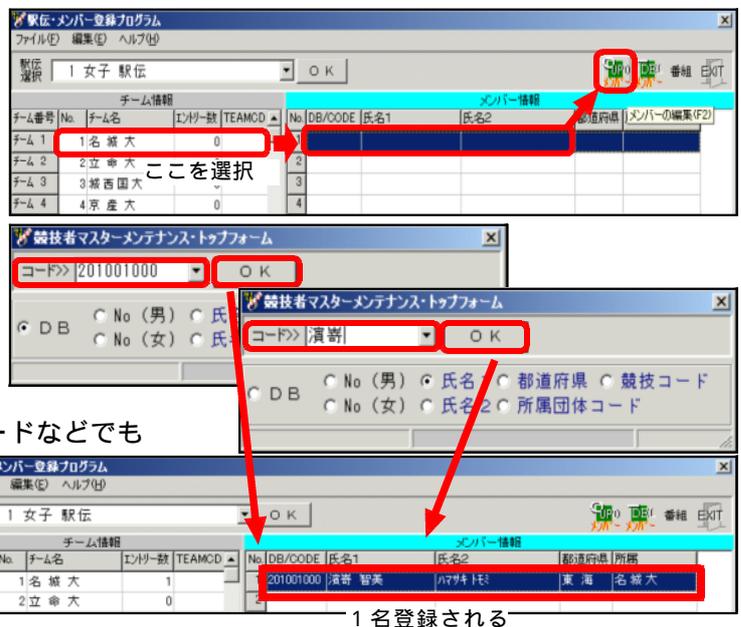
画面右側のメンバー情報欄の一人目の位置を選択します。

《UPDメンバー》ボタンをクリックします。競技者検索画面が表示されます。

「コード>>」に続いて選手のDBコードを入力し、《OK》をクリックします。メンバー情報欄に選手が一人登録されます。

(氏名や都道府県コード、所属団体コードなどでも検索することができます。)

これを出場選手の数だけ繰り返しメンバー全員を登録してください。



1名登録される



いずれかの方法で全チームにメンバーを登録してください。

4) 一度登録した選手を削除したい場合

削除したい選手を選択し、画面右上に表示されている《-DELメンバー》ボタンをクリックすると削除することができます。



【DEL】メンバー削除



2. 番組情報の設定

駅伝に関する審判長、記録主任、レース開始時刻などの番組情報を設定します。

画面右上の《番組》ボタンをクリックし、番組情報の設定ボックスを表示します。

【Ctrl + B】

番組情報の設定

番組ボタン

番組情報の設定

チーム番号	No.	チーム名	エントリー数	TEAMCD	No.	DB/COODE	氏名1	氏名2	都道府県	所属
チーム 1	1	名城大	10		1	201000100	中尾 真理子	ナカオ マコ	東海	
チーム 2	2	立命大	10		2	201000200	加来 美咲	カミキ	東海	
チーム 3	3	城西国大	10		3	201000300	吉岡 知香	ヨシオカ チカ	東海	
チーム 4	4	京産大	10		4	201000400	岩下 麻灰子	イワシマ マホ	東海	
チーム 5	5	城西大	10		5	201000500	川井 美佳	カワイ ミカ	東海	
チーム 6	6	佛教大	10		6	201000600	佐藤 絵理	サトウ エリ	東海	
チーム 7	7	北教大	8		7	201000700	足立 依實子	アダチ イサコ	東海	
チーム 8	8	福島大	9		8	201000800	下藤 ひとみ	シモフジ ヒトミ	東海	
チーム 9	9	順大	10		9	201000900	西川 生夏	ニシカワ セツ	東海	
					10	201001000	濱野 智美	ハノノ トモミ	東海	

設定

必要な事項を入力します。

審判長 : 審判長名を入力します。(記録表などに毎回出力されます)

記録主任 : 記録主任名を入力します。(記録表などに毎回出力されます)

その他 : とくに使用しません。

日付 : 駅伝大会の日付。

コール完了時刻 : 第1走者のコール完了時刻を入力します。

スタート時刻 : スタート予定時刻を入力します。

【Tab】項目間移動

すでにオーダーや結果が入力されていて、**REL情報が削除されてはいけない場合は、「REL情報」のチェックボックスにチェックを付けずに《設定》ボタンをクリック**します。

REL情報を削除したい場合はチェックボックスにチェックをつけて《設定》ボタンをクリックします。

「REL情報」はオーダーや記録などの情報が入っているものです。



編集終了ボタン

すべての設定が完了したら、《End Edit RACE》編集終了ボタンをクリックして、駅伝選択に戻ります。

この時点で、コンソラーに新しい駅伝競技が作成されます。



【Ctrl + S】

編集終了

《EXIT》ボタンをクリックすると、駅伝メンバー登録プログラムを終了して、サブメニュー画面に戻ります。

EXITボタン

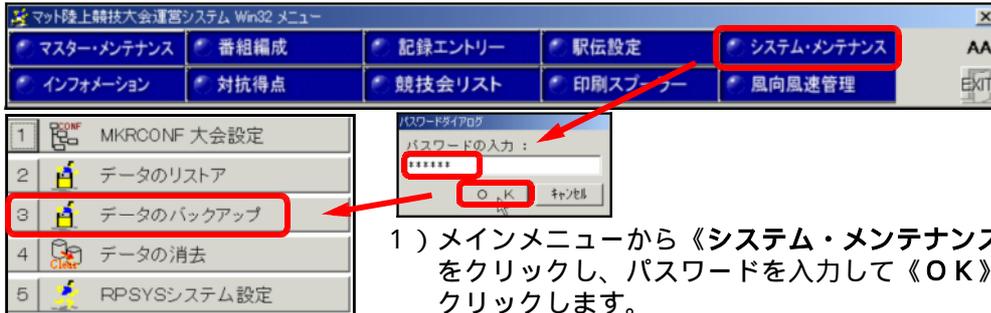
【Ctrl + F12】

EXIT



データのバックアップ

ここまでの作業が完了したら、この陸上システムデータのバックアップをとっておきます。大会当日は、このバックアップファイルからデータをサーバにリストア（復元）して使用して下さい。



1) メインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。

【F 5】システムメンテナンス

2) システムメンテナンスメニューから《3. データのバックアップ》をクリックします。

【3】 + 【Enter】

データのバックアップ

3) バックアップに関する設定をします。

バックアップ元を指定します。

このデータは「C:\¥\$\$\$\$」に作成していましたので「C:\¥\$\$\$\$」を選択します。

バックアップ形式を指定します。 今回はL Z H形式を選択。

・データ形式... 「C:\¥\$\$\$\$」にあるMAST、ENT、REL、PROG、TOKUTENの各フォルダをそのままコピーします。

・L Z H形式... L Z H形式で圧縮します。

バックアップ先（保存先）を指定します。

今回は同一フォルダに保存するので「C:\¥\$\$\$\$」を選びます。

《参照》ボタンをクリックすると、ここに表示されている保存先以外の場所も指定できます。

バックアップファイルを新しく作成するか、すでに存在するバックアップファイルに更新されたものだけを新たにバックアップするかを選択します。

通常は《新規》を選択します。

どのファイルのバックアップをとるかを選択します。

通常は《全選択》ボタンをクリックしてすべてのファイルをバックアップします。

- ・MASTファイル ... 競技者、所属団体、個定情報、競技などの各マスターファイル
- ・ENTファイル ... 競技別エントリー情報データファイル (ent*.dat)
- ・RELファイル ... レース情報（レーン順、記録等）関係データファイル (rel*.dat)
- ・PROGファイル ... 進行状況・気象情報データファイル
- ・TOKUTENファイル... 対抗得点関係ファイル
- ・ENTLISTファイル... 番組編成関係リストファイル
- ・RELLISTファイル... スタートリスト、記録・結果リスト

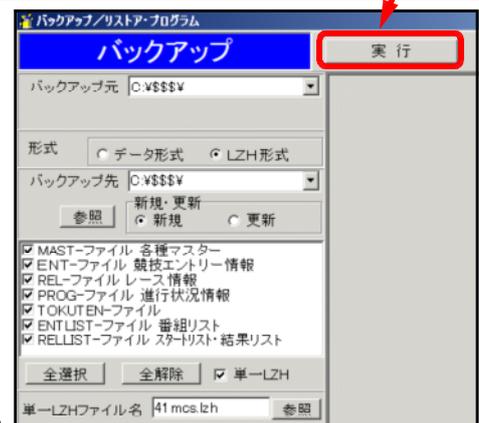
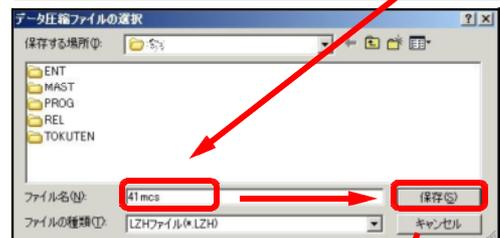
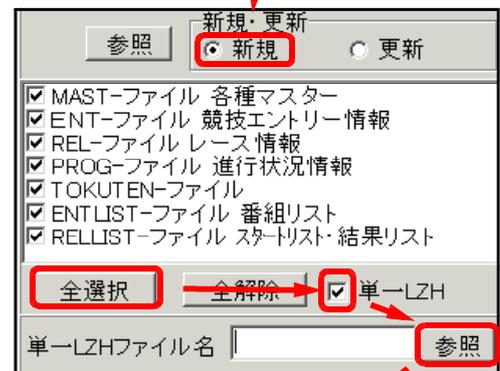
バックアップ形式で「L Z H形式」を選択した場合は、MAST・ENT・REL・PROGなどの種類ごとに圧縮ファイルを作成するか、すべてを一つの圧縮ファイル（単一）にするかを選択することができます。

「単一」で実行しておけば、必要なファイルがバラバラになることはないので、できるだけ単一で実行して下さい。

《単一L Z H》チェックボックスにチェックを付けると、単一L Z Hファイル名を入力する欄と参照ボタンが表示されます。《参照》ボタンをクリックし、任意のファイル名を入力して、《保存》ボタンをクリックします。

4) 設定完了後《実行》ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

「バックアップ処理完了。」のメッセージが表示されたら、《終了》ボタンをクリックしてバックアップを終了して下さい。



.サーバにデータをセット(リストア)する

サーバにデータをセット(リストア)する

データ作成でバックアップしたファイルをサーバにセットします。

- 1) 競技場のネットワーク装置とサーバを起動します。
- 2) データをセットするためのコンピュータを起動し、競技場のネットワークにログインします。(個人所有のコンピュータの場合、ネットワークドライブの割り当てを忘れずに行ってください。)
- 3) セットするデータを用意します。USBメモリやフロッピーディスクに保存してある場合は、ここでコンピュータに挿入します。

- 4) 陸上システムメインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックしパスワードを入力します。

- 5) システムメンテナンスメニューから《2.データのリストア》をクリックします。

- 6) リストアに関する設定をします。
リストア元のフォルダを指定します。
セットするデータが保存してある場所をプルダウン()から選択します。この中がない場合は、《参照》ボタンをクリックし場所を指定してください。

リストアするデータの形式を選択します。
バックアップしたデータが圧縮ファイルなら「LZH形式」を、圧縮していないなら「データ形式」を選択してください。

リストア先を指定します。
リストア先はサーバになりますので通常は「F:¥」又は「Z:¥」を選択して下さい。このリストア先は「ネットワークドライブの割り当て」で割り当てられるドライブ名を何にするかによって変わります。プルダウン()に適切なリストア先が無い場合は《参照》ボタンをクリックして場所を指定して下さい。

リストアを新規に実行するか、既に存在するデータに更新されたものだけを新たにリストアするかを選択します。
「新規」は今サーバにセットされているデータを削除してからリストアします。
「更新」は今サーバにセットされているデータより新しいものだけをリストアします。
通常は《新規》を選択してください。

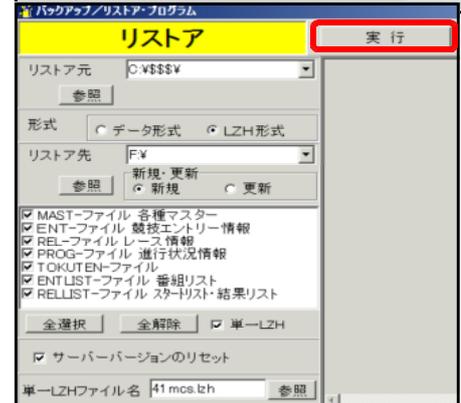
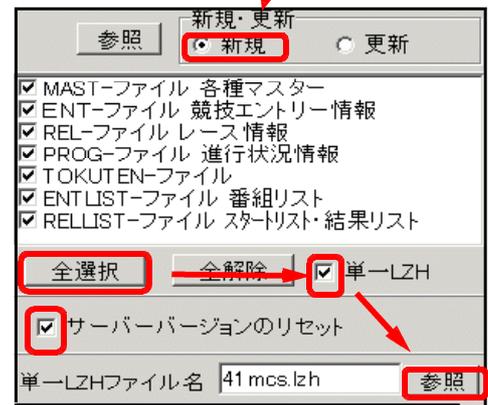
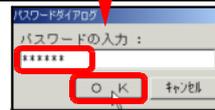
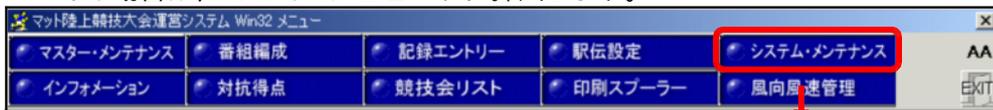
リストアするファイルを選択します。通常は《全選択》ボタンをクリックしてすべてのファイルをリストアしてください。ある特定のファイルのみリストアしたい場合は、リストアしたいファイルの 欄にチェックを付けてください。

リストアするファイルの形式で「LZH形式」を選択した場合は、LZHファイルが「単一」であれば「単一LZH」チェックボックスにチェックを付け、《参照》ボタンをクリックして単一LZHファイルを選択して下さい。

最後に、「サーバーバージョンのリセット」にチェックを付け、《実行》ボタンをクリックします。リストアが開始され、終了すると「リストア処理完了」とメッセージが表示されます。

- 7) 《終了》ボタンをクリックしてリストアを終了して下さい。
競技会終了後は必ずバックアップをとり保管しておきましょう。

【 F 5 】システムメンテナンス



.クライアントコンピューター起動時の注意 - マスターコピー

ネットワークを使用して記録入力などのオペレーションをする場合は、コンピューター起動後、必ずマスターコピーを実施してください。マスターコピーは選手氏名や所属【F 3】記録エントリーに関する情報、競技情報などをサーバーからクライアントコンピューターに自動コピーする作業です。

- 1) メインメニューから《記録エントリー》を選択し《3 . MCOPYマスターコピー》をクリックして、サーバーからのマスターコピーを実行します。一瞬「OK」の文字が表示されます。



ローカル・マスター情報						サーバー・マスター情報					
	Ver	タイムスケジュー	サイズ	ステータス	処理	Ver	タイムスケジュー	サイズ			
競技者	1	2006-10-28 16:27:06	70,272	OK		1	2006-10-28 16:27:06	70,272			
所属	1	2006-10-23 23:15:34	3,968	OK		1	2006-10-23 23:15:34	3,968			
個定	1	2007-10-24 14:03:37	119,520	OK		1	2007-10-24 14:03:37	119,520			
種目	1	2000-10-14 16:15:30	37,100	OK		1	2000-10-14 16:15:30	37,100			
競技	1	2007-10-24 14:17:57	256	OK		1	2007-10-24 14:17:57	256			
No.男	1	2006-10-23 23:12:35	16	OK		1	2006-10-23 23:12:35	16			
No.女		2006-10-23 23:12:35	16	OK			2006-10-23 23:12:35	16			

- 2) 《1 . コンソラー》を開き作成したデータが参照できれば競技会の準備は完了です。

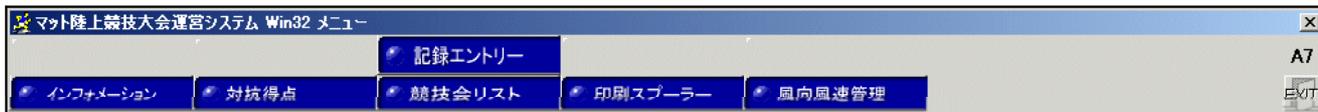
No	ステータス	種目	性別種別	レース組	条件	日付	コール	開始	開始実	終了	使用	測定	7'OP
1		駅伝	女子	決勝		2006-10-29	12:00	12:10				手動1/1秒	



.印刷スプーラーの設定と起動

【 F 9 】印刷スプーラー

1) メインメニューの《印刷スプーラー》ボタンをクリックします。

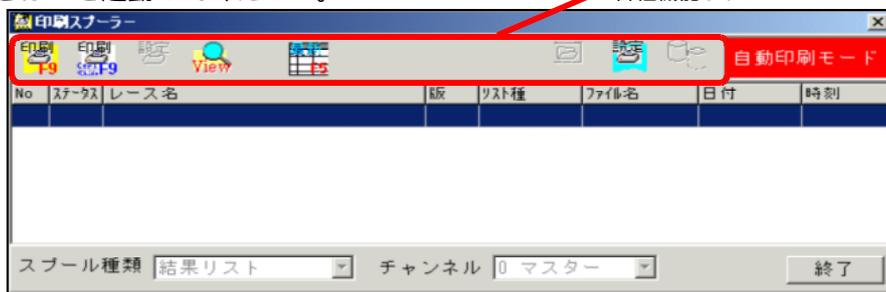


9個のボタンが表示されます。

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1. 印刷スプーラーカスタム設定 | ... 2 ~ 9の機能に自由に設定できます。 |
| 2. 印刷スプーラー | ... 通常の印刷スプーラーの設定(手動) |
| 3. 印刷スプーラー(自動CH1) |) スタートリストと結果(リザルト)を自動で印刷します。6 ~ 9が起動している時は、結果のみ印刷されます。 |
| 4. 印刷スプーラー(自動CH2) | |
| 5. 印刷スプーラー(自動CH3) | |
| 6. 印刷スプーラー(スタートリスト) | ... スタートリストのみを印刷します(手動) |
| 7. 印刷スプーラー(スタートリスト自動CH1) |) スタートリストを自動で印刷します。 |
| 8. 印刷スプーラー(スタートリスト自動CH2) | |
| 9. 印刷スプーラー(スタートリスト自動CH3) | |

3 ~ 5、7 ~ 9はそれぞれ同じものを2つ以上同時に起動することができません。

例) 3を起動しているときに、さらにもう1台スプーラーを起動しようとするときは4を起動してください。

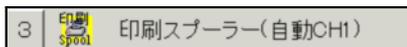


機能ボタン説明

(左から)

- | | | |
|-------|------------------------------|--------------------|
| 印刷 | 選択したリストを印刷します | 【 F 9 】 |
| 任意印刷 | 任意のファイルを印刷します | 【 Ctrl+Shift+F 9 】 |
| 印刷設定 | プリンターを設定します | 【 Shift+F 9 】 |
| View | 選択したリストを表示します | 【 F 2 】 |
| 最新 | 最新情報を表示します | 【 F 5 】 |
| Other | 任意のスプール制御ファイル名を指定できます | |
| 設定 | 印刷を自動印刷に設定します | 【 Ctrl+F 9 】 |
| Clear | 現在のスプール制御ファイルをリネームして新規に設定します | |

2) 通常競技会では、《 3 . 印刷スプーラー(自動CH1) 》
を起動しておきます。



3) 印刷スプーラーを終了したいときは、画面右下の《終了》ボタンをクリックして終了し、メニュー画面に戻ります。

【 Ctrl + F 12 】終了



駅伝 オーダーの登録と出 / 欠処理

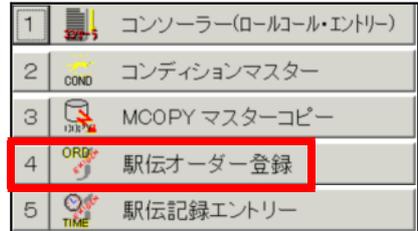
オーダーの登録

1. メインメニューから《記録エントリー》をクリックします。

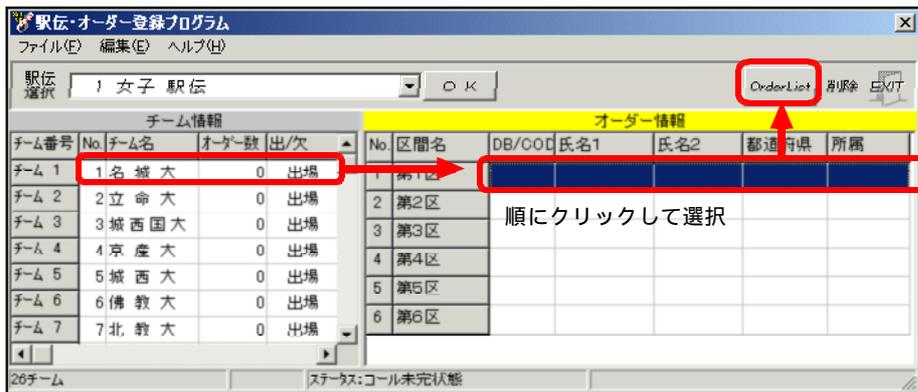
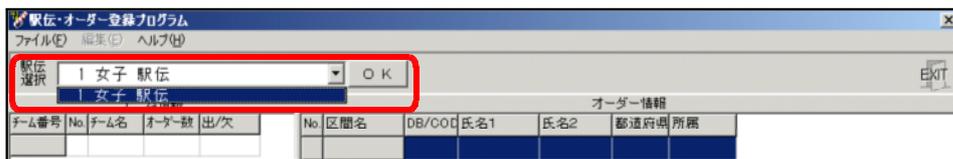
【 F 3 】記録エントリー



2. 《 4 . 駅伝オーダー登録》をクリックします。
数秒で「駅伝・オーダー登録プログラム」が表示されます。



3. 駅伝選択欄からこれからオーダーを登録しようとしている駅伝競技を選択し、《OK》ボタンをクリックします。すでに登録されているチーム情報が表示されます。



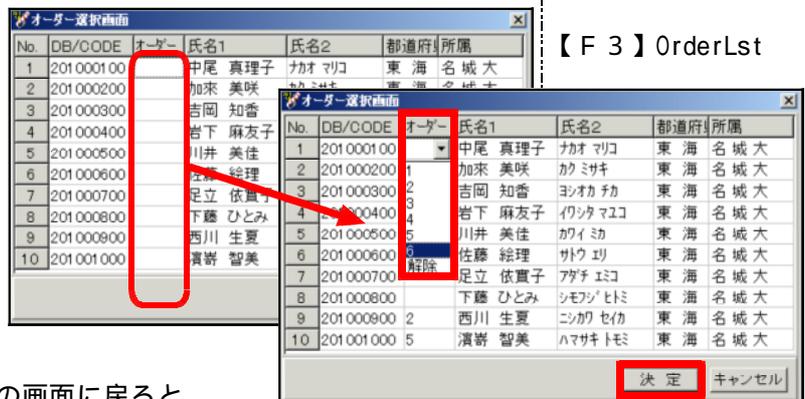
【Enter】OK

4. チーム情報欄からオーダーを入力したいチームを選択し、続いてオーダー情報欄をクリックして選択します。
画面右側のオーダー情報の欄が黄色く反転し、同時にEXITボタンのとなりに《OrderList》ボタンと《削除》ボタンが表示されます。

5. 《OrderList》ボタンをクリックし、オーダー選択画面を表示します。
「オーダー」欄に走順を入力するか、オーダー欄をクリックして選択リストから数値を選び登録します。

【 F 3 】OrderLst

《解除》を選択すると一度登録した走順を解除することが出来ます。
直接数値を入力しても走順を変更することができます。



登録後《決定》ボタンをクリックし元の画面に戻るとオーダーが登録され、チーム情報欄のオーダー数が登録した人数になります。

【Alt + Enter】決定

6. 一度登録した選手をオーダーからはずしたいときは、その選手を選択した後、EXITボタンの隣にある《削除》ボタンをクリックすると削除することができます。

【DEL】削除

7. 以上の操作を全チームについて行えば、オーダー登録は完了となります。



出 / 欠場の処理

出場しないチームがある場合には、チームを欠場にする処理を行います。

1. 欠場にしたいチームを選択し、右クリックして《欠場する》を選択します。

2. 出 / 欠欄が「出場」「欠場」に変わります。この処理を全ての欠場チームに行います。

3. 再び「出場」に戻したい場合はチームを選択して右クリックし、《出場する》を選択することで戻すことができます。



【スペース】欠場 / 出場

オーダーリストの印刷とオーダー登録処理の終了 オーダー登録処理終了(コール完了)とリストの印刷 (印刷スプーラーに出力)

1. 画面右上にある《End Edit RACE》ボタンをクリックします。

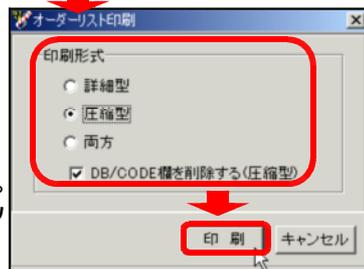
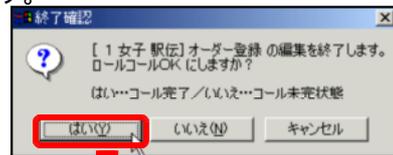
2. 終了確認のメッセージが表示されます。コール完了ですので《はい》をクリックします。



3. オーダーリスト印刷設定画面が表示されます。印刷形式を選択し《印刷》をクリックします。

【印刷形式】

- ・ 詳細型：チーム情報、走者の情報など、多くの情報が掲載されたリストを出力します。
 - ・ 圧縮型：通常印刷するリストです。必要最低限のナンバー、チーム名、区間、走者などの情報が1枚から2枚に集約されて印刷されます。「DB/CODE欄を削除する」にチェックをつけると、圧縮型リストからDBコード欄を削除して、より簡略化されたリストが印刷されます(2行構成の為チーム名3は印字されません)。
 - ・ 両方：詳細型と圧縮型の両方を出力します。
- 印刷は、印刷スプーラーから出力されます。
印刷スプーラーは、事前に一度起動しておく必要があります。

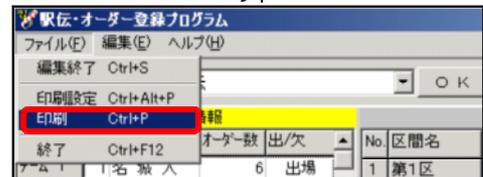


4. 「完了で終了しました。」というメッセージが表示されますので、《OK》をクリックします。

オーダー登録処理中に印刷する(操作中のマシンに接続されているプリンタから出力)

1. 画面左上の《ファイル》メニューの中から《印刷》を選択します。

2. コール完了時の印刷の時と同じオーダーリスト印設定画面が表示されるので、出力したいものを選び《印刷》ボタンをクリックします。



3. 印刷を実行したマシンに接続されているプリンタからリストが出力されます。

【Ctrl + P】印刷

全ての処理が終了したら、画面右上の《EXIT》ボタンをクリックして、駅伝オーダー登録プログラムを終了し、サブメニュー画面に戻ります。

【Ctrl + F12】
EXIT



駅伝 記録の入力

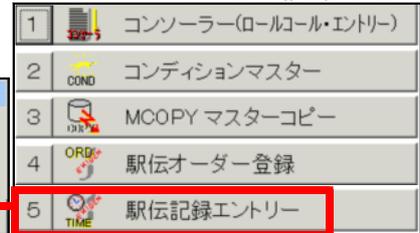
システムを起動させ、メインメニューを表示させます。



1. メインメニューから《記録エントリー》をクリックします。

【F 3】記録エントリー

2. 《5 . 駅伝記録エントリー》をクリックします。



3. パスワードダイアログにパスワードを入力し、《OK》をクリックします。



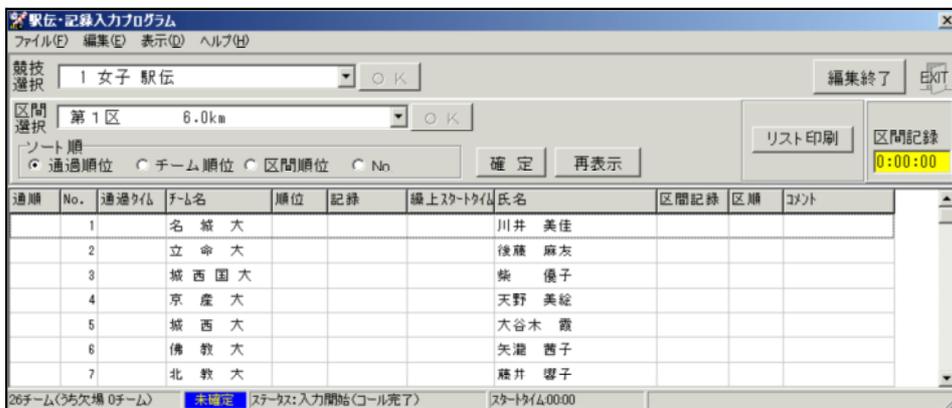
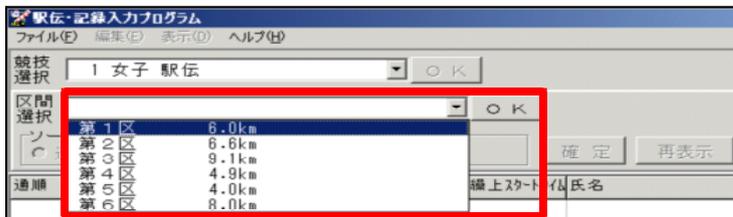
4. 「駅伝・記録入力プログラム」画面が表示されます。

競技選択欄のプルダウン () から、これから記録を入力しようとしている駅伝競技を選択し、《OK》ボタンをクリックします。次に試合開始時刻を入力するボックスが表示されますのでレース開始時刻を入力して《OK》をクリックします。

【Enter】OK
【Tab】項目間移動

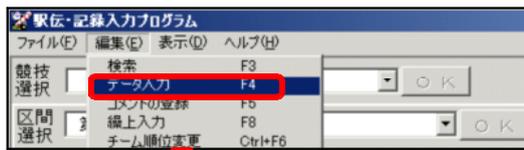


5. 次に、区間選択欄のプルダウン () から、これから記録を入力しようとしている区間を選択して《OK》をクリックします。画面に、すでに登録済みのチーム名と走者名が表示されます。



6. 記録を入力します。

- 1) 編集メニューから《データの入力》を選択し、駅伝記録入力ウィンドウを表示します。この表に記録を入力していきます。



- 【順位】 チームの順位を入力
- 【No.】 チームナンバーを入力
- 【時】 時間(HHH)
- 【分】 分(MM)
- 【秒】 秒(SS)
- 【Enter】 次の項目へ移動する



【F 4】記録入力

記録入力エリア
【Enter】で次項目へ進む

入力例：1位 No.4 0:26:57、
2位 No.3 0:27:18、
3位 No.6 0:27:20 の場合

	順位	No.	時	分	秒
1行目	{ 1 }	{ 4 }	{ 26 }	{ 57 }	
2行目	{ 2 }	{ 3 }	{ 27 }	{ 18 }	
3行目	{ 3 }	{ 6 }	{ 27 }	{ 20 }	

と入力します。このとき、「時」の項目に「0」は必要ありません。
前に入力した数値と同じものを入力する場合

【Enter】キーで入力することができます

(例では2位と3位の分の値。27分が続いているので、この機能が使えます)

同一ナンバー確認機能

すでに通過しているチームのナンバーを再び入力すると、ステータス欄にその旨を表示しますので、もう一度確認しなおす必要があります。

誤って入力画面を表示したときは？

誤って記録入力ウィンドウを表示した場合は【ESC】で回避します。

【ESC】取り消し

途中棄権や一度入力した記録を取り消したいときは次の処理を行います。

途中棄権の場合の処理

順位 No. 時 分 秒
[9 9 9] [F-No.] [] [] []

順位欄に999を入力し、チームナンバーを入力します。

一度入力した記録を取り消したいとき

順位 No. 時 分 秒
[9 9 6] [F-No.] [] [] []

順位欄に996を入力し、チームナンバーを入力します。

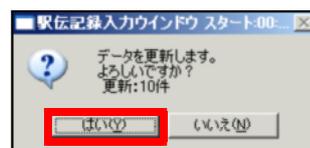
- 2) 一度に1～10件の記録を入力することができます。

入力が終了したら、もう一度入力した記録が正しいかどうか確認した上で《更新》ボタンをクリックして記録を反映し、続きがある場合は続きを入力します。



【Alt + Enter】更新

- 3) 該当区間の全ての入力が終了したら、《終了》ボタンをクリックし、駅伝・記録入力ウィンドウを終了して、駅伝・記録入力プログラム画面に戻ります。

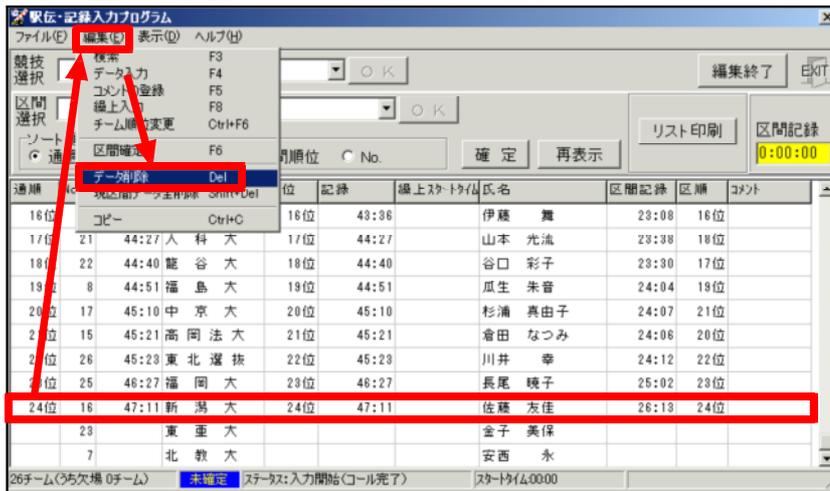


このとき、個人の区間記録を自動的に計算し、表示します。初期設定で登録した従来の区間記録を上回ったときには、コメント欄に「NSR」区間新記録のコメントが自動的に付加されます。

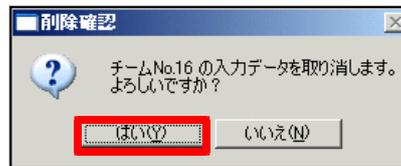
また、チームオープンを設定しているチームは総合順位がOPNとなり、完全オープンを設定しているチームは総合順位と区間順位がOPNとなります。



入力を誤り、登録した記録データを消去したい場合



例)24位No.16新潟大の記録を消去したい場合。
消去したい行を選択し、《編集》メニューから《データ削除》を選ぶ。
確認のメッセージが表示されたら《はい》をクリックする。



現在表示中の区間の記録をすべて消去したい場合

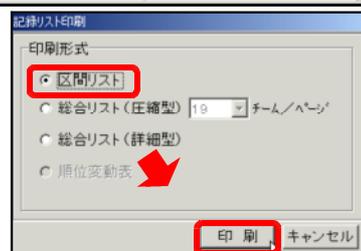
《編集》メニューから《現区間データ全削除》を選択。確認メッセージが表示されたら《はい》を選択すると現在表示中の区間のデータを消去することができます。

- 4) 選択中の区間の全ての記録が入力できたら、《確定》ボタンをクリックして区間の記録と順位を確定します。画面左下に「確定済」の表示が出ます。 【 F 6 】 確定



- 5) 《リスト印刷》ボタンをクリックして、区間リストを印刷します。
(印刷は印刷スプーラーに出力されます。)

- 6) 以上で、1区間の入力の処理は終了です。
5. に戻って、次の区間を選択し、《OK》をクリックすれば、次の区間の入力ができます。



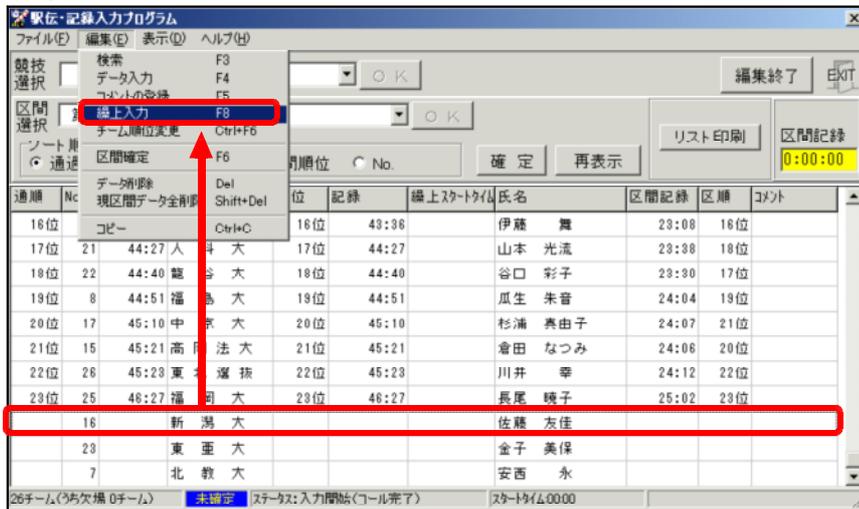
【 F 9 】 リスト印刷



7. 繰り上げスタートの処理

繰り上げスタートを行った場合は、以下の手順で処理します。

- 1) 繰り上げを行わなかったチームの記録を全て入力します。
- 2) 繰り上げを行ったチームにカーソルを合わせ、編集メニューから《繰上入力》を【F8】繰上入力選択します。



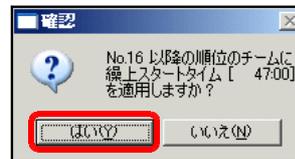
例) 第2中継所において北教大、神院大、美作女大の3校が55分00秒(1区スタートからの時間)に繰り上げスタートを実施した場合。

- 3) 繰り上げスタートタイム入力ボックスが表示されますので、繰り上げスタートを行った時間(第1区スタートからの経過時間・時刻計測時も同様に第1区スタートからの経過時間)を入力します。

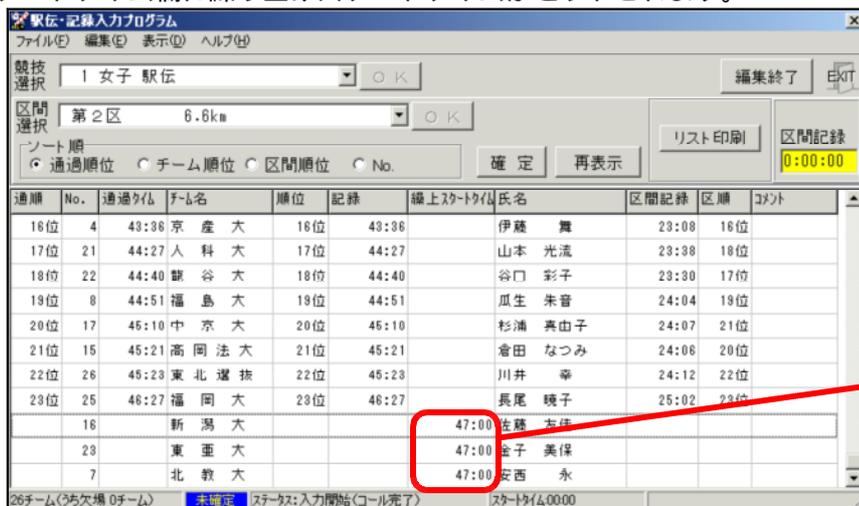


注: 時刻計測の場合、駅伝記録入力ウィンドウから順位に「995」を登録して繰上処理をする場合は繰り上げた時刻を入力してください。

- 4) 繰り上げスタートタイムを、まだ中継していないチームすべてに適用するかどうかを確認しますので、適用する場合は《はい》をクリックします。(この例の場合、北教大以外にまだ中継していない神院大、美作女大にも繰り上げを適用するかどうか。)



- 5) 繰上スタートタイム欄に繰り上げスタートタイムがセットされます。



- 6) 以降は6.と同様に、編集メニューの《データ入力》をクリックして駅伝記録入力ウィンドウを表示し、到着したチームの順位と記録を入力していきます。

- 7) 繰り上げスタート以降の区間の記録は、通常通り中継したタイムを入力していきます。(自動的に繰り上げを考慮した区間記録が計算されます。)



8. その他の機能について

・チーム情報参照ウィンドウの表示

指定したチームのチーム情報を、チームごとに参照することができます。
参照したいチームを選択し、ダブルクリックすると、チーム情報参照ウィンドウが表示されます。

【F11】チーム情報参照

No.	区間名	順位	チームタイム	通過タイム(順)	区間順位	区間タイム	コメント	フラグ	氏名1	氏名2	都道府	所属
1	第1区	1位	28:57	28:57(1位)	1位	28:57	NSR	1-到着	赤羽 有紀子	7カク 3カ	関東	城西大
2	第2区	1位	48:04	48:04(1位)	1位	21:07		1-到着	清水 圭子	2カス ケイ	関東	城西大
3	第3区	1位	1:00:43	1:00:43(1位)	2位	12:39		1-到着	畑山 裕美	カクマ 2カ	関東	城西大
4	第4区	1位	1:28:54	1:28:54(1位)	6位	28:11		1-到着	大松澤 慈美	カクマケリ マカミ	関東	城西大
5	第5区	1位	1:39:59	1:39:59(1位)	1位	18:05		1-到着	内田 早紀	カクマ 2カ	関東	城西大
6	第6区	1位	2:10:07	2:10:07(1位)	2位	30:08		1-到着	村山 恵美	カクマ 2カ	関東	城西大

画面を終了するときには《EXIT》をクリックします。

・先頭からのタイム差の表示

区間記録と同時に、先頭からのタイム差を表示することができます。
画面上部の《表示》メニューから《先頭からのタイム差表示》を選択すると、記録の欄に、通過タイムによる先頭からのタイム差が表示され、区間記録の欄に、個人の区間記録による1位とのタイム差が表示されます。

【F12】先頭からのタイム差表示

通過	No.	通過タイム	チーム名	順位	記録	繰上スタートタイム	氏名	区間記録	区間	コメント
4位	4	48:04	城西大	1位	48:04		清水 圭子	21:07	1位	
2位	3	49:51	筑波大	2位	0:47		山崎 麻子	21:39(0:26)	3位	
3位	13	49:09	名産大	3位	1:05		吉丸 愛	21:26(0:19)	2位	
4位	17	49:18	立命大	4位	1:14		榎本 絵美	21:34(0:27)	4位	
5位	5	49:23	東農大	5位	1:19		小野寺 愛	21:38(0:31)	5位	
6位	16	49:26	京産大	6位	1:22		小松 美雪	21:38(0:31)	5位	
7位	7	49:44	玉川大	7位	1:40		山田 智子	22:22(1:15)	9位	
8位	6	50:05	順大	8位	2:01		松枝 美菜	22:11(1:04)	8位	
9位	8	50:47	白鷗大	9位	2:49		馬場 佳由里	22:49(1:41)	10位	
10位	9	51:14	亜大	10位	3:10		清原 千恵子	23:10(2:03)	11位	
11位	24	51:25	福岡大	11位	3:21		宮島 京子	23:21(2:14)	12位	

通過タイムによる先頭からのタイム差

個人の区間記録による1位とのタイム差

・画面表示情報をExcelにコピー

表示中の情報をExcelにコピーすることが出来ます。
《編集》メニューから《コピー》をクリックし、Excelを開いてシートの任意の場所に《貼り付け》を実行すると、画面表示中の情報をExcelに取得することが出来ます。(あらかじめ記録が入る列の書式を文字列にしておくこと記録の形式が崩れません。)

【Ctrl + C】画面コピー

通過	No.	記録	繰上スタートタイム	氏名	区間記録	区間	コメント
1位		19:37		カクマケリ	19:37	1位	
2位	19	19:40		山下 沙羅	19:40	2位	
3位	3	19:42		紫 優子	19:42	3位	
4位	6	19:43		矢瀧 茜子	19:43	4位	
5位	12	19:44		川嶋 雅子	19:44	5位	
6位	10	19:54		後藤 奈津子	19:54	6位	
7位	18	19:55		山元 美駒	19:55	7位	
8位	2	19:57		後藤 麻友	19:57	8位	
9位	9	19:58		茂木 瑞恵	19:58	9位	



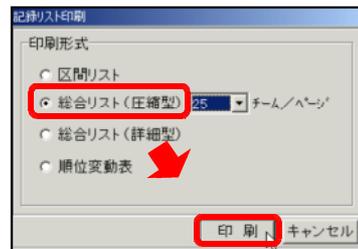
9. 大会新記録などの場合、コメントを付ける必要がありますので、以下の手順でコメントをつけます。
- 1) コメントを入力したいチーム名をクリックし、選択します。
 - 2) 編集メニューの《コメントの登録》をクリックすると、「コメント登録バー」が表示されます。



登録ボタン

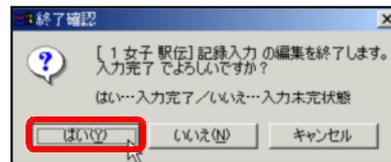
- 3) プルダウンをクリックしコメントを選択して、《登録》ボタンをクリックするとコメントが登録されます。(最大6個まで登録可能です。)
- 【F 5】コメント登録
- 【Alt + Enter】登録
- 注：駅伝のコメントについて
 駅伝競技におけるコメントはチームに対するものとなります。どの区間を表示している時にコメントを付けても、最終区で付けたものとして扱われます。
 各区間毎の区間新や区間タイなどのコメントは自動的に付加されます。

10. 全ての区間の入力が完了したら、《リスト印刷》ボタンをクリックして、「総合リスト(圧縮型)」を印刷します。その際、1ページあたりの最大出力チーム数を設定できます。(印刷は印刷スプーラーに出力されます。)



【F 9】リスト印刷

11. 駅伝の入力処理が全て終了したら、画面右上の《編集終了》ボタンをクリックします。終了確認メッセージが表示されますので、入力完了であれば、《はい》をクリックします。その後、《EXIT》ボタンをクリックすると、メインメニューに戻ります。

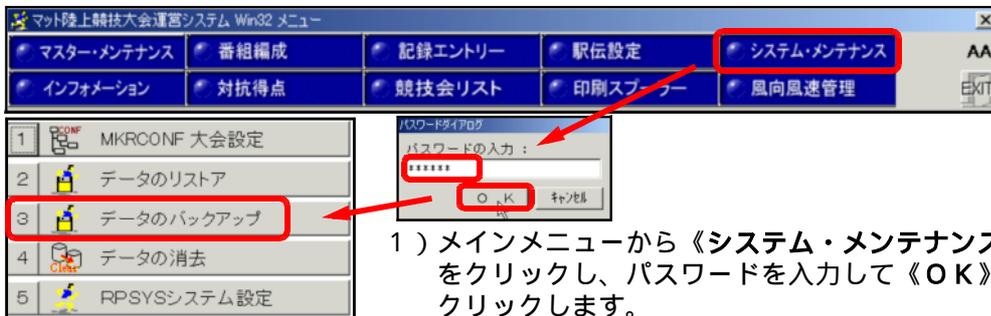


【Ctrl + S】
編集終了

【Ctrl + F12】
EXIT

データのバックアップ

競技会終了後にデータのバックアップを取り、データを保管しておきます。



1) メインメニューから《システム・メンテナンス》をクリックし、パスワードを入力して《OK》をクリックします。

【F 5】システムメンテナンス

2) システムメンテナンスメニューから《3. データのバックアップ》をクリックします。

【3】 + 【Enter】
データのバックアップ

3) バックアップに関する設定をします。

バックアップ元を指定します。

ネットワークを使用して駅伝を実施した場合は「Z:¥」（人によってはF:¥の場合もあります。）コンピュータ1台のみで実施した場合は「C:¥\$\$\$¥」を選択します。

バックアップ形式を指定します。

今回はL Z H形式を選択。

- ・データ形式...MAST・ENT・REL・PROGの各フォルダをそのままコピーします。
- ・L Z H形式... L Z H形式で圧縮します。

バックアップ先（保存先）を指定します。

「C:¥\$\$\$¥」もしくは保存したい場所を選びます。《参照》ボタンをクリックすると、ここに表示されているバックアップ先に表示される項目以外の場所も指定できます。

バックアップファイルを新しく作成するか、すでに存在するバックアップファイルに更新されたものだけを新たにバックアップするかを選択します。

通常は《新規》を選択します。

どのファイルのバックアップをとるか選択します。

通常はすべてにチェックを入れてすべてのファイルをバックアップします。

- ・MASTファイル ...競技者、所属団体、個定情報、競技などの各マスターファイル
- ・ENTファイル ...競技別エントリー情報データファイル(ent*.dat)
- ・RELファイル ...レース情報（レーン順、記録等）関係データファイル（rel*.dat）
- ・PROGファイル ...進行状況・気象情報データファイル
- ・TOKUTENファイル...対抗得点関係ファイル
- ・ENTLISTファイル...番組編成関係リストファイル
- ・RELLISTファイル...スタートリスト、記録・結果リスト

バックアップ形式で「L Z H形式」を選択した場合は、MAST・ENT・REL・PROGなどの種類ごとに圧縮ファイルを作成するか、すべてを一つの圧縮ファイル（単一）にするかを選択することができます。

「単一」にしておけば必要なファイルがバラバラにならないので、できるだけ単一で実行して下さい。《単一L Z H》チェックボックスにチェックを付けると、単一L Z Hファイル名を入力する欄と参照ボタンが表示されます。《参照》ボタンをクリックし、任意のファイル名を入力して、《保存》ボタンをクリックします。

4) 設定完了後《実行》ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

「バックアップ処理完了。」のメッセージが表示されたら、《終了》ボタンをクリックしてバックアップを終了して下さい。

